

【資料1】平成29年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H29年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
I 等しく認めあう									
1 固定的な意識の是正									
(1) 性別による役割分担意識・慣習の是正	① 固定的性別役割分担意識に基づく意識・慣習の是正	1. 男女平等に関する啓発活動の推進	男女共同参画課	1. 男女平等に関する啓発活動の推進	男女共同参画課	実施した	・広報やちよで特集を組み、市ホームページを随時更新して、男女共同参画社会づくりに関する情報を提供した。 ・男女共同参画だより「やちよべあ」とサンカク通信を発行し、男女共同参画社会づくりに関する情報提供を行った。 ・ポスターの掲示や寄贈パンフレットのの市民配布により男女共同参画意識の向上を図った。 ・主催講座参加者・利用登録団体の代表者に男女共同参画に関する統計資料などを配布し、資料に基づき講話を実施した。 ・男女共同参画週間事業「女性起業家の見本市～やちよの素敵なお店コレクション～」の会場にセンター事業及び男女共同参画に関するブースを設けた。 ・男女共同参画だより「やちよべあ」の発行回数 29年度 1回 28年度 3回 ・サンカク通信の発行回数 29年度 13回 28年度 11回 ・主催事業参加者への資料配布・講話実施の回数 29年度 11回 28年度 11回 ・男女共同参画週間事業「女性起業家の見本市～やちよの素敵なお店コレクション～」出展者・来場者数 29年度 出展者 29人 来場者 94人 28年度 出展者 37人 来場者 166人	・性別による役割分担意識や慣習の是正に向けて啓発できた。 ・主催講座参加者・利用登録団体の代表者に男女平等意識の啓発を行うことができた。	積極的な推進が見られた
			生涯学習振興課	1-1. 男女平等に関する啓発活動の推進 (1) 視聴覚教材の貸し出し	実施した	・視聴覚教材センターにおいて、男女共同参画に関わる教材の貸し出しを行っているが、29年度の実績はなかった。 ・視聴覚教材センターにおける男女共同参画に関する教材の貸し出し回数 29年度 実績なし 28年度 実績なし	周知方法について検討したい。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
			生涯学習振興課(図書館)	1-2. 男女平等に関する啓発活動の推進 (2) 図書資料等の貸し出し	実施した	・男女共同参画に関する資料を購入し、貸出を行うことによって、男女平等意識の向上を図った。 ・購入冊数 29年度 13冊 28年度 6冊	資料の展示等を行い利用者へのPRIに努め、利用促進を図る。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
			生涯学習振興課	2. 人権尊重に関する啓発活動の実施	実施した	千葉県が主催する「社会人権教育地区別研修会」について、市民へ参加の周知・募集を行った。協力：葛南地区5市(八千代市、浦安市、市川市、船橋市、習志野市) また、千葉県が発行する社会人権教育資料等を公民館や図書館等に配付し、各施設で配架することによって、人権教育の推進を図った。 なお、「まちづくりふれあい講座」において、男女共同参画を図る「認め合い、支え合い、生き生きと暮らすために～男女共同参画ってなあに～」を用意したが、平成29年度の実績はなかった。 ・社会人権教育地区別研修会 八千代市参加者数 29年度 4人 28年度 28人 ・まちづくりふれあい講座 男女共同参画課「認め合い、支え合い、生き生きと暮らすために」実施回数 29年度 0回 28年度 0回	社会人権地区別研修会が市外での開催となったことから、参加者数が減少した。また、まちづくりふれあい講座の男女共同参画に係る講座の実績がなかったことから、より一層の周知活動に取り組みたい。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
(2) 一人ひとりの人権・人格の尊重意識の浸透	① 一人ひとりの人権・人格の尊重意識の浸透	2-1. 人権尊重に関する啓発活動の実施 (1) 人権啓発活動活性化事業	男女共同参画センター	2. 人権尊重に関する啓発活動の実施	男女共同参画センター	実施した	事業No.1と同じ	事業No.1と同じ	積極的な推進が見られた
			健康福祉課	未実施だった	人権啓発事業は、船橋市と隔年開催で実施しており、平成29年度は船橋市が事業を実施したため未実施。 平成30年度は八千代市主催での人権スポーツ教室・人権ワークショップを実施する予定。	未実施	未実施・休止・廃止		
			健康福祉課	実施した	船橋市人権擁護委員協議会の人権擁護委員による人権相談を実施。 ・日時：月1回、午後1時～4時 ※6月のみ午前10時～正午も実施 ・場所：八千代市役所旧館1階第3相談室 ※6月と12月は福祉センター4階第3・4会議室 ・相談件数 29年度 4件 28年度 7件	定期的な開催により、人権についての悩み・心配事を気軽に相談できる場を提供することができた。 件数が減少傾向にあるので、広報以外の周知方法について検討したい。	現状維持 (具体的な取組を行った)		
			男女共同参画センター	実施した	悩みを抱える女性に対し、専門の相談員が精神的な支援を行った。相談内容によっては専門機関を紹介した。 ・毎週 火・木・金曜日 午前9時～午後4時 ・相談日数 29年度 147日 28年度 146日 ・相談件数 29年度 689件 28年度 706件	この電話を心の支えにしている相談者も多く、ニーズが高い事業である。継続して実施していく。	現状維持 (具体的な取組を行った)		
(3) 性別による役割分担意識の是正のための調査・研究	① 意識調査等関連情報の収集・整理・提供	4. 男女共同参画に関する調査の実施、情報提供	男女共同参画課	男女共同参画に関する調査の実施、情報提供	男女共同参画課	実施した	男女共同参画に関する職員意識調査報告書を作成し、男女の役割・平等意識や仕事と生活の調和などについてどのように感じているか、市職員の現状意識について周知した。情報公開コーナーと市内図書館に配布し、市のホームページに掲載したほか、対内的には庁内掲示板への掲載を行った。	男女で様々な意識の差があることがわかり、市職員への意識付けにつながったと考える。今後の新規採用職員研修や、女性管理職ネットワーク会議に活かしたい。	現状維持 (具体的な取組を行った)

【資料1】平成29年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H29年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
I 等しく認めあう									
2 男女の人権擁護									
(1) ドメスティックバイオレンスの発生を防ぐ意識づくり	① 暴力を許さない意識づくりと相談体制の整備	5. 暴力行為を許さない意識づくり	男女共同参画課	実施した	・毎月広報で周知している「女性、こころの悩み電話相談」に、DVに関するものがあった場合、福祉総合相談室や県の女性サポートセンター等の専門機関を案内した。 ・DVに関する相談件数9件 ・千葉県男女共同参画課DV対策班の担当職員を招き、「女性、こころの悩み電話相談」の相談員にDVに関する研修を行った。 ・県で作成しているDV相談カード・ちらしを市内公共施設に配布している。 ・市内の中学校、高校、大学にデートDVのチラシを配布した。	DVかどうかの判断が相談者の主観によるため、対応が難しい。	現状維持（具体的な取組を行った）		
			健康福祉課（福祉総合相談室）	実施した	DV被害者からの相談に応じ、必要に応じて、警察、健康福祉センター、女性サポートセンター等の関係機関と連携した。 ・相談件数 29年度 28件 28年度 21件	DV被害者に対し、必要に応じた様々な情報提供をすることができた。加害者への対応について、被害者相談とは分けて支援が必要である。	現状維持（具体的な取組を行った）		
		(2) セクシュアルハラスメント防止対策と体制整備	① セクシュアルハラスメント防止対策と体制整備	7. 市内事業所や市役所等の職場への意識啓発と相談体制の充実	商工課	実施した	市ホームページ及び国及び県等からのチラシを窓口に掲示し、セクシュアルハラスメント等労使間のトラブルに関する情報を提供した。 【設置チラシ】 タイトル「労使間のトラブルはあっせんで解決」 「こんなときは労働委員会をご利用ください」	より多くの人に情報を提供できるよう周知方法を検討する。	現状維持（具体的な取組を行った）
				7. 市内事業所や市役所等の職場への意識啓発と相談体制の充実	男女共同参画課	実施した	国・県等からのチラシを窓口に掲示し、周知した。 【設置チラシ】 タイトル1「次のようなことについては、千葉労働局雇用均等室にお気軽にお問い合わせ、ご相談ください！！」 タイトル2「こんな問題で悩んでいませんか？」	必要な人に情報を届ける手段を検討。	現状維持（具体的な取組を行った）
		7-1. 市内事業所や市役所等の職場への意識啓発と相談体制の充実（1）市職員のハラスメントに関する相談	職員課	実施した	・管理監督者を対象にしたハラスメント防止対策研修の実施 ・ハラスメント相談を受け付ける体制を整えている。相談件数：6件 ・ハラスメント相談窓口担当者連絡会議（メンバー：市職員4名）：1回開催 ・相談員の質の向上をめざし、相談員4名がハラスメント研修を受講した。	・管理監督者向けハラスメント予防に関する意識の向上を図る必要がある。 ・ハラスメント相談体制の整備及び質の向上を図る必要がある。	現状維持（具体的な取組を行った）		
3 男女共同参画の視点に立った教育の推進									
(1) 保育園・幼稚園・学校における意識づくりの推進	① 男女共同意識の啓発	8. 保育園、幼稚園、小中学校における男女平等の視点に立った保育、教育の推進	子育て支援課（保育園）	実施した	男女平等の視点に立った保育の推進を図るため、園児の生活や遊びにおいて男女の区別なく同じ活動を経験するような保育を実践した。	男女平等の視点に立った保育の推進を図ることができた。	現状維持（具体的な取組を行った）		
		8. 保育園、幼稚園、小中学校における男女平等の視点に立った保育、教育の推進	学務課	実施した	各学校において、男女平等の視点に立った教育活動が推進できるよう、指導・助言を行った。	子どもたちに対し、男女平等の意識付けが行えた。	現状維持（具体的な取組を行った）		
		8. 保育園、幼稚園、小中学校における男女平等の視点に立った保育、教育の推進	指導課	実施した	校内の活動や職業体験授業を通して、性別に関わらず協力し行動する意義や大切さを学ばせている。	幼・保・小・中学校の発達段階に応じて、意識づくりの推進を図った。	現状維持（具体的な取組を行った）		
		9. 人権講演、運動の支援	健康福祉課	実施した	船橋人権擁護委員協議会の人権擁護委員が、市内小中学校の児童、生徒を対象に人権をテーマとした講演会や、「人権の花運動」としてチューリップの球根の配布・植えつけを実施した。 ・実施回数（小学校） 29年度 17回、28年度 22回 ・実施回数（中学校） 29年度 1回、28年度 2回 ・実施回数（学童保育所） 29年度 1回、28年度 5回 ・「人権の花運動」実施校 29年度 4校、28年度 4校	児童一人ひとりが互いを尊重し人権を大切にすることを育むことができた。	現状維持（具体的な取組を行った）		
		10-1. 男女平等の視点に立った保育、生徒指導のための研修の充実（1）保育士研修会	子育て支援課（保育園）	実施した	性別にとらわれず一人ひとりの個性を伸ばす保育を行えるよう、職員間の意識を共有するために、具体的に事例を出しながら会議等で話し合い、保育方法の工夫・改善に努めた。	男女平等の視点に立った保育の推進を図ることができた。	現状維持（具体的な取組を行った）		
		10-2. 男女平等の視点に立った保育、生徒指導のための研修の充実（2）生徒指導主任（主事）長欠担当者研修会	指導課	実施した	国、県、市の生徒指導・不登校等児童生徒の問題行動に係る施策の通知を周知徹底し、取り組んでいくため、下記を行った。 ・市内全小中学校の生徒指導担当者を対象とした研修会を実施。（1回。前年度：1回） ・市内全小中学校の長欠担当者を対象とした研修会を実施。（3回。前年度：3回）	各研修を通じて、各学校担当者に対して男女の平等の視点に立った施策等の周知徹底を図れた。男女平等の視点に立った児童生徒の健全な育成には、日々の地道な取り組みが肝要なため、即すぐに効果が表れるものではないため、性別にとらわれず各児童生徒の実態に応じたきめ細やかな指導支援が必要である。	現状維持（具体的な取組を行った）		

【資料1】平成29年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H29年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
I 等しく認めあう									
3 男女共同参画の視点に立った教育の推進									
(1) 保育園・幼稚園・学校における意識づくりの推進	① 男女共同意識の啓発		10-3. 男女平等の視点に立った保育、生徒指導のための研修の充実 (3) 各種会議等における指導、助言、啓発	指導課	実施した	下記の場で指導・助言を行った。 ・不登校児童生徒対策支援教室担当者会議 ・小中学生指導推進研究協議会 ・中高生指導推進研究協議会等	受講者が研修内容を各学校で周知し、学校として一貫性のある男女平等の視点に立った指導に努め、組織的な対応ができる生徒指導の体制作りを強化したい。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
			11. 小中学校担当教員の学校人権教育研修会の実施	指導課	実施した	学校人権教育研修会を実施した。(年2回)	各小中学校人権教育主任の人権に対する意識が高まった。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
			12. 教育内容に応じた混合名簿の活用	指導課	実施した	指導内容に応じ、卒業生台帳の公簿などは生年月日順とし、男女混合名簿を使っている。	今後も男女混合名簿を使っていく。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
			13. 学校における総合的な学習の時間、キャリア教育の充実	指導課	実施した	主体的な選択と、能力・適性を生かせるよう、小学校では職業調査学習、中学校では職場体験学習を行っている。	性別に関わらず自分の能力と適性を生かせることを学べた。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
			14. 進路指導担当教職員の研修の充実	指導課	実施した	性別に関わらず進路について子どもたちが考えられるよう、進路指導担当教職員を対象とした研修を実施した。	性別に関わらず、個人の希望に沿った進路指導を実施できた。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
	② 男女ともに主体的な選択と能力・適性をいかすことのできる教育の推進	15. 中学校における技術家庭科授業の男女共修の充実	指導課	実施した	・男女ともに技術分野及び家庭分野を学んでいる。 ・八千代市中学校技術家庭科作品展を実施した。	技術分野及び家庭分野を、男女性別に関わらず学び、安全に取り組み、能力を生かすことに繋がった。 八千代市中学校技術家庭科作品展において、技術分野で、女子生徒の作品が教育長賞を受賞するなど、技術分野における女子生徒の作品の入選が増加傾向にある。	現状維持 (具体的な取組を行った)		
		16-1. 技術家庭科担当教員研修の充実 (1) 中学校技術家庭科実技研修会	指導課	実施した	千葉県職業能力開発協会の協力を経て、和裁マイスターを講師に招き、男性教諭も女性教諭も関係なく、運針および変わりお玉づくりの研修を受けた。	男性教諭も積極的に研修に参加してお手玉づくりを学び、その研修をいかし、実際に子どもたちに授業をすることで「縫い物は女性」という固定観念を子どもたちが持たないように、男女共同参画の意識づくりを図れた。	積極的な推進が見られた		
		16-2. 技術家庭科担当教員研修の充実 (2) 小学校家庭科実技研修会	指導課	実施した	小学校家庭科実技研修会を年2回実施した。男性教諭の参加を増やすために、各学校に男性教諭を研修に出すように依頼した。 〈男性教員の研修への参加者数〉 H29: 3人, H28: 3人 〈男性教員の家庭科主任数〉 H29: 3人, H28: 3人	29年度も男性教諭の研修への継続した参加があった。また、家庭科主任も男性教諭が行っている。より多くの参加を目指して、今後も男性教員の参加を呼びかけていく。	現状維持 (具体的な取組を行った)		
		17. 小中学校における性教育の推進	保健体育課	実施した	小学校6年生の体育で「病気の予防」、中学校3年生の保健体育で「感染症の予防」としてエイズを含めた性感染症について教えている。また、学級活動や学校行事等の特別活動の中で機会をとらえて性に関する指導を行っている。 啓発活動として思春期保健ネットワーク会議と連携して性に関するリーフレットの配布及び配布後のアンケート調査に協力した。	体育・保健体育及び特別活動での指導が性に関する正しい知識の習得につながっている。 思春期保健ネットワーク会議で作成した中学生向けリーフレットの配布は正しい知識普及の一助となった。また、配布後のアンケート調査を分析することで現状の把握ができた。	現状維持 (具体的な取組を行った)		
		18. 家庭や地域に関する学習機会の充実	男女共同参画センター	実施した	・家事や上手なコミュニケーションの取り方、地域の施設めぐりなど様々な学習をする講座を実施。 「男の雑学塾(全6回)」 8月25日(金)、9月1日(金)、15日(金)、29日(金)、10月6日(金)、20日(金) ・料理が不慣れな男性を対象に料理の基本を学ぶ講座を実施。 男の料理ビギナーズ編「プロから学ぶ本格コーヒー&サンドイッチ」 11月21日(火) ・介護の基礎知識と技術、料理を学ぶ講座を実施。 男の介護講座「箱の数はいくつ？」(全3回) 2月13日(月)、20日(月)、27日(月) ・「男の雑学塾」 延べ参加人数 29年度 126人、28年度 61人 ・男の料理ビギナーズ編 「プロから学ぶ本格コーヒー&サンドイッチ」 参加人数 29年度 19人、28年度 24人 ・男の介護講座「箱の数はいくつ？」 延べ参加人数 29年度 48人、28年度 48人	男性の参画が少ない家庭・地域活動への参画推進が図れた。	積極的な推進が見られた		

【資料1】平成29年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H29年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
I 等しく認めあう									
3 男女共同参画の視点に立った教育の推進									
(2) 家庭や地域における意識づくりの推進	① 家庭や地域における男女共同参画推進のための学習機会の充実と啓発			18. 家庭や地域に関する学習機会の充実	生涯学習振興課(公民館)	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・高津公民館「高津いきいき学級」座学編(3回):延べ参加者数 22人 健康編(3回):延べ参加者数 14人(前年度:全4回, 34人) ・八千代台公民館「八千代悠々倶楽部」(5回) 延べ参加者数 95人(前年度:全6回, 145人) ・村上公民館「村上いきいき元気教室」(7回) 延べ参加者数 96人(前年度:全6回, 96人) ・〃「初級者のためのエクセル教室」MYカレンダーの作成(2回) 延べ参加者数 29人 ・東南公民館「東南きらめき倶楽部」(10回) 延べ参加者数 377人(前年度:全9回, 152人) ・緑が丘公民館「ときめき倶楽部」(7回) 延べ参加者数 163人(前年度:全6回, 144人) 	性別に関わらず家庭生活や地域活動について学ぶことができた。	現状維持(具体的な取組を行った)
				19. 家庭教育の支援	生涯学習振興課(公民館)	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・未就学児から小中学生の保護者を対象に「家庭教育学級」等家庭教育に関する講座を開催した。9講座 参加延べ人数 362人(前年度:8講座, 参加延べ人数572人) ・「一歳児親子学級」を開催した。10学級 参加延べ人数 1,833人(前年度:8学級, 参加延べ人数1,650人) ・0歳児・2歳児を持つ親子を対象に、子どもの年齢に合わせた家庭教育に関する講座を開催した。6講座 参加延べ人数 374人(前年度:4講座, 参加延べ人数94人) 	一歳児親子学級に関しては需要もあり、定員を超える状況であったが、家庭教育学級に関しては参加者数の減少が課題である。学級の形にこだわらず、家庭教育に関する講座を開催していく。	現状維持(具体的な取組を行った)
				19-1. 家庭教育の支援 (1)家庭教育講演会	生涯学習振興課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 第1回家庭教育講演会(講師:一般社団法人 日本青少年育成協会 JYDA教育コーチ A級認定トレーナー 井野和子氏, 参加者数107人)と第2回家庭教育講演会(講師:一般社団法人 千葉県助産師会 習志野・八千代・鎌ヶ谷地区部会 おおたに出張専門助産所 助産師 大谷理恵氏, 参加者数66人)を開催した。 ・家庭教育講演会実施回数 29年度 2回, 28年度 3回 ・延べ参加人数 29年度 173人, 28年度 222人 	家庭教育講演会の実施回数は2回となったが、実施した講演会を通して、家庭教育の普及を図ることができた。より多くの参加が得られるよう、今後も積極的に周知していきたい。	現状維持(具体的な取組を行った)
				19-2. 家庭教育の支援 (2)家庭教育学級だよりの発行	生涯学習振興課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 「家庭教育だよりの小学生版と中学生版を作成し、市内の小・中学校に通学する児童・生徒の保護者に配布した。 ・配布学校数 29年度 小学校 22校 中学校 11校 28年度 小学校 22校 中学校 11校 	家庭教育に関する情報を提供できた。	現状維持(具体的な取組を行った)
				20. 男女で子育てする意識の啓発	子育て支援課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 子育てに関するサイトである「にこにこ☆元気」の運営を行うことで、啓発を行った。 ・閲覧数 29年度 4,241人, 28年度 2,786人 	閲覧数も増え、夫婦で子育てする意識の啓発を図ることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)
				20. 男女で子育てする意識の啓発	子育て支援課(子ども支援センターすてっぷ21)	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・夫婦で子育てする意識の啓発を目的に、「お父さんと一緒にあそぼうよ」を父親の参加しやすい日程に合わせて開催した。父親にむけて、子どもとの関わり方や遊びを紹介し、父親同士の交流の場になった。 ・開催回数・父親の参加人数 29年度 5回 46人, 28年度 6回 100人 ・利用する父親に対してアンケートを実施し、その結果をもとに父親の子育てのヒントになるよう、情報紙「☆パパ☆新聞!!」を作成した。各子ども支援センター・地域子育て支援センターに掲示し、市ホームページに掲載した。平成30年4月から配布予定。 	男女で子育てする意識向上を図ることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)
				20. 男女で子育てする意識の啓発	子育て支援課(保育園)	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・夫婦一緒に子育てする意識が持てるような内容を取り入れた保育園行事(運動会・保育参観・懇談会・発表会など)の参加を促した。 ・配布物や掲示物による啓発を行った。 	男女で子育てする意識の向上を図ることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)
				20. 男女で子育てする意識の啓発	男女共同参画課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 男性が育児に積極的に関わるように子どもとの関わり方を学ぶ講座を実施。 ・親子でパパと作るランチプレート 12月2日(土) ・パパと一緒にリトミック 3月17日(土) ・パパと作るランチプレート 参加人数 29年度 7組 14人, 28年度 8組 16人 ・パパと一緒にリトミック 参加人数 29年度 11組 25人(28年度は実施なし) 	父親が子育てに関わる大切さの意識づくりを図れた。人気講座であり、ニーズも高いことから今後も実施したい。	積極的な推進が見られた
20. 男女で子育てする意識の啓発	男女共同参画センター								
			21. 男性の子育て推進	子育て支援課(子ども支援センターすてっぷ21)	実施した	No.20の子ども支援センターすてっぷ21の事業と同じ	No.20の子ども支援センターすてっぷ21の事業と同じ	現状維持(具体的な取組を行った)	
II 共に作りだす									
1 政策・方針決定の場への男女共同参画									
(1) 行政における多様な参画の推進	① 審議会等への女性登用の促進			22. 審議会等における女性委員比率目標達成	男女共同参画課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 女性委員登用状況調査を実施し、現状を把握した。また、調査結果をまとめ庁内に周知し、改めて登用率向上への協力を求めた。 	女性登用促進への意識付けにつながっている。	現状維持(具体的な取組を行った)
				② 審議会等への市民登用の機会均等	23. 審議会等委員における公募委員登用機会均等	コミュニティ推進課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 市民委員公募の決定の際には、やちよ男女共同参画プランに掲げた目標値35%の達成に努めるものとする旨が含まれる「八千代市審議会等の整理統合及び運営等に関する指針」を確認するよう手引きを含め、各課へ周知を行い、女性委員の割合を高めるよう促した。 ・各種審議会等における公募による市民委員の割合 29年度 89人, 28年度 89人 ・各種審議会等における女性委員の登用率 29年度 319人, 28年度 313人 	各審議会担当課においてはすでに女性委員の割合を高めることの意識は浸透してきている。実際は応募者・候補者に不均衡があるため、まだ結果として目標値には届いていないが、平成29年度でいえば32.2%で昨年度よりは割合が上がっている。

【資料1】平成29年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H29年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
II 共に作りだす									
1 政策・方針決定の場への男女共同参画									
	(1) 行政における多様な参画の推進	③ 市女性職員の採用と管理職への登用の促進	24. 市女性職員の採用、管理職への登用の促進		職員課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 性別に関わらず適切な人事管理・職員の採用を行った。 男女共同参画課と共同で「女性管理職ネットワーク会議」を実施した。 職員採用試験受験者のうち女性の割合 29年度 36.9%、28年度 45.7% 管理職職員のうち女性職員の割合 29年度 18.8%、28年度 22% 女性職員の採用 29年度 24人、28年度 25人 	保育士等を中心に女性の採用者数が増加傾向にある。今後は技術職を中心に女性の受験者数の確保、また、女性職員の管理職等への登用及び職域の拡大を図る予定である。	現状維持（具体的な取組を行った）
	(2) 男女共同参画推進のための指導者の人材発掘・育成	① 指導者育成のための学習機会・交流機会の充実	25. 自主学習グループの育成とリーダーの発掘		男女共同参画センター	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画への理解を深めることを目的に、研修会を実施した。各団体の代表者に参加を依頼し、研修内容を会員へ周知してもらえよう依頼した。 実施日 3月15日(木) 参加人数 29年度 26人、28年度 26人 開催回数 29年度 1回、28年度 1回 	登録団体の代表者などに男女共同参画推進の意識啓発を図ることができた。	積極的な推進が見られた
2 地域での男女共同参画									
	(1) まちづくりへの多様な参画の推進	① まちづくりへの男女共同参画	26. 自治会の支援、育成		生活安全課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 自治会活動事業への補助金を交付した。 29年度 1世帯当たり300円補助、市内自治会数245 28年度 1世帯当たり300円補助、市内自治会数245 また、開発事業における事前協議の際に、入居者に対して自治会への加入、結成を働きかけた。 	自治会活動事業への補助を行った結果、地域活動を支援でき、まちづくりへの多様な参画の推進を図ることができた。また、開発事業において自治会への加入、結成を働きかけたが、加入率は低下した。	現状維持（具体的な取組を行った）
27. 自主防災組織創設、育成事業				総合防災課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 新規自主防災組織、既存組織に補助金を交付した。 各自主防災組織の会長を対象としたリーダー研修会を実施した。 自主防災組織の新規結成を図るため、自主防災組織が未結成の自治会を対象に、自主防災組織の結成に関するアンケート調査を実施し、結成を検討していると回答があった自治会に訪問し、自主防災組織の結成に関する説明を行った。 新規結成した自主防災組織数 29年度 6組織、28年度 3組織 	自主防災組織が行う防災活動に対する補助金の交付や、各自主防災組織の会長を対象としたリーダー研修会を実施したことにより、自主的な防災活動の推進が図られ、地域全体においてまちづくりへの多様な参画が推進された。	積極的な推進が見られた	
28. 防災意識の普及、啓発				総合防災課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりふれあい講座や防災訓練などで講話を実施した。 まちづくりふれあい講座の実施回数 29年度 0回、28年度 1回 防災訓練における防災講話の実施回数 29年度 26回、28年度 29回 	まちづくりふれあい講座の依頼はなかったが、防災訓練における防災講話などの実施により、市民の防災意識の普及・啓発が図られ、地域全体においてまちづくりへの多様な参画が推進された。	現状維持（具体的な取組を行った）	
29. リサイクル等のイベントの開催				クリーン推進課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 八千代フリーマーケット実行委員会主催によるフリーマーケットの開催を支援（後援）した。 ＜開催実績＞ 5月27日 来客者 600人、10月28日 来客者 700人 ・2017八千代どんと祭りに出展、リサイクルフェアブースを出店し、エコグッズの配布等を行った。 ＜開催実績＞ 10月21日 来客者 175人 ・八千代フリーマーケット開催日数 29年度 2日、28年度 3日 ・八千代どんと祭り開催日数 29年度 1日、28年度 2日 	女性が主体となっている実行委員会により開催されており、女性の地域におけるまちづくりへの参画推進につながっている。フリーマーケット実行委員会は、9人中7人が女性によって構成されている。今後は委員が主体となって運営できるよう支援していきたい。また、多くの市民にごみの減量を通したまちづくりへの参画が図れた。	現状維持（具体的な取組を行った）	
30. 市民活動サポートセンターの運営				コミュニティ推進課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体に利用者相互の交流の場を提供する交流支援、事務的な活動の場を提供する活動支援、情報の収集と発信の場を提供する情報支援を実施した。 市民活動団体が抱える課題の解決を図り、市民活動が活性化できるよう、「市民活動サポートセンターホームページ マイページ作成・更新講習会」を開催。 ふれあい大学受講生の方々の地域デビューを支援するため、「地域デビュー講座」を開催。併せて受講生と市民活動団体の交流や理解を深めるため、各団体のブースを設置し地域デビューのきっかけづくりの場を提供した。 市民活動の周知と、市民活動団体相互の交流促進のため「やちよ市民活動フェスティバル2017」を開催。 新たに「市民活動サポートセンター登録団体とメディア関係者との交流会」を開催。市民活動団体が苦手としている広報活動の強化を図った。 市民活動サポートセンター利用者数 29年度 5,607人、28年度 5,630人 	市民活動サポートセンターの利用者数はほぼ横ばいとなっている。新たな事業を実施し、市民活動団体等の地域活動・ボランティア活動への支援・育成につながった。	現状維持（具体的な取組を行った）	
31. 女性の消防団員の事業参画推進				消防総務課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 応急手当指導員の資格を持った女性消防団員が、救急隊員と共に、市民や中学生に対して救命講習会を行い応急手当の普及啓発を行った。 総合防災訓練、消防フェア等、大規模な防災訓練や地域の訓練等に参加し市民等への救命体験を実施した。 住宅用火災警報器普及活動に参加した。 幼年消防クラブを対象に火災予防広報を実施した。 消防団員を対象に、普通救命講習会を実施した。 住宅用火災警報器普及活動 29年度 2回、28年度 2回 普通救命講習会を実施 29年度 44回、28年度 29回 幼年消防クラブを対象に火災予防広報を実施 29年度 13回、28年度 15回 	<ul style="list-style-type: none"> 普通救命講習等及び住宅用火災警報器普及活動を行い、市民に対して普及啓発活動ができた。 今後も、女性の消防団員の活躍の場を広がっていききたい。また、団員増を図りたい。 	現状維持（具体的な取組を行った）	
32. 活動に関する情報提供の充実				青少年課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動団体・ボランティア活動団体の行う子ども・若者を対象にしたイベント等の情報を精査し、市のホームページ内「はっぴいういんど」にリンクを掲載した。 	利用者の増加を図りたい。	現状維持（具体的な取組を行った）	

【資料1】平成29年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H29年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
II 共に作りだす									
2 地域での男女共同参画									
(1) まちづくりへの多様な参画の推進	② 地域活動・ボランティア活動の支援と育成		33. ボランティア活動の環境整備	健康福祉課	実施した	社会福祉協議会が、福祉教育の一環として市内小中学校及び高等学校を対象とした各種出前講座事業を行い、地域活動・ボランティア活動への参画を促した。 ・障害者疑似体験(車いす・アイマスク) ・高齢者疑似体験及び点字・手話講座 ・「出前講座(福祉教育)」開催場所 29年度 11校、28年度 14校 また、各種ボランティア養成講座を実施した。 ・引きこもりを題材にした、心のサポート講座 ・高齢者による高齢者のサポートを題材にした、担い手養成講座 ・ボランティア養成講座参加人数 29年度 165人、28年度 200人	福祉教育を通しボランティア活動の大切さが学べ、ボランティアの育成にも繋がった。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			34-1. 地域の人材活用の充実(1)生涯学習ボランティアバンク	生涯学習振興課	実施した	市ホームページや総合生涯学習プラザホームページへの掲載、主催講座や市内イベントでのチラシ配布、広報やちよ平成30年3月15日号での特集記事の掲載などで周知し、利用の促進をはかった。 ・講師利用回数 29年度 21回、28年度 11回 ・講座参加者数 29年度 521人、28年度 340人 ・講師登録者数 29年度 56人、28年度 49人	積極的に周知を行った結果、制度利用回数や利用者数、登録者数の増加につながった。引き続き周知を図りたい。	積極的な推進が見られた	
			34-2. 地域の人材活用の充実(2)公民館ボランティア講師制度	生涯学習振興課(公民館)	実施した	・各種の技能・能力がある人が公民館でボランティア活動を行いやすくするための「公民館ボランティア講師制度」を実施している。 ・「公民館ボランティア講師制度」の活用を、公民館主催講座だけでなく公民館を利用する各サークルや地域の方々が利用できるように情報提供を行っている。 ・ボランティア講師登録者数 29年度 82人、28年度 77人	「公民館ボランティア講師制度」を通じて、地域活動・ボランティア活動への参加意識を高める一助となっている。今後も周知に努めていく。 平成29年度で任期が満了となる登録者に対して継続意思を確認し、登録者の確保を図る。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			35. 地域集会施設の整備	生活安全課	実施した	地域集会施設の修繕、管理運営に補助金を交付した。また開発事業における事前協議の際に、計画戸数が100戸以上の場合は集会用地や集会室等を確保するように指導しているが、29年度、該当する所はなかった。	引き続き実施し、地域活動の支援を図りたい。	現状維持(具体的な取組を行った)	
(2) 多様な主体のネットワーク化による連携・協働	① 多様な主体の連携・協働		36. 連携と協働による男女共同参画の推進	男女共同参画センター	実施した	・市内の女性起業家の活動支援とネットワークづくりを目指したイベントを商工会議所、商工課と共催で実施。 男女共同参画週間事業「女性起業家の見本市～やちよの素敵なお店コレクション～」6月24日(土) ・女性の起業支援として市内の女性起業家に協力を得て、体験談等のパネルディスカッションを実施。 女性の起業支援セミナー「わたしの起業ストーリー」6月24日(土) ・過去に活躍した女性の人生を振り返り、女性の生き方について考える講座を支援団体「らいてうの会」との連携・協働で実施。 女性学講座「淡谷のりこーブルースの女王と呼ばれ、信念を持って歌う」11月28日(火) ・女性起業家の有志団体「やちよ小町」の活動支援を行った。 ・女性起業家の見本市～やちよの素敵なお店コレクション～ 29年度 出展者29人 来場者94人、28年度 出展者37人 来場者166人 ・女性の起業支援セミナー「わたしの起業ストーリー」 29年度 22人、28年度 18人 ・女性学講座「淡谷のりこーブルースの女王と呼ばれ、信念を持って歌う」参加人数 29年度 49人、28年度 36人	前年度に比べ参加者・来場者が少ないため、今後の取り組みについて再考が必要である。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			37. 地域子育て支援ネットワークの構築	子育て支援課(子ども支援センターすてっぷ21)	実施した	母子保健課と子育て支援課が連携し、子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センターを拠点として、妊娠期から出産、乳幼児期までの切れ目のない支援の提供と子育てしやすいまちづくりの推進を図った。子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センター・母子保健課で地域情報交換会を実施。地域の特性に合わせ、子育てアドバイザー(保育士)と保健師がコーディネーターとなりネットワーク化を図った。 加えて、子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センターの地域に応じた活動として、関係機関や団体の会議に随時出席して情報交換を行ったほか、支会との協働で出前「遊びと交流の広場」を開催し、多様な連携・協働につながっている。	子育て支援関係団体との連携が取りやすくなってきており、ネットワークが構築されてきている。引き続き、地域の特性に合わせたコーディネートをいネットワーク化を推進する。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			37. 地域子育て支援ネットワークの構築	母子保健課		・地域情報交換会(合同開催の数により年間開催回数は増減する) 29年度 7回、136人 28年度 8回、144人			
			38-1. 地域活動団体の支援、連携(1)文化団体の支援、連携	文化・スポーツ課	実施した	市内の文化団体3団体が実施する各種の文化活動に関する事業に対して、補助金を交付した。また、文化団体連絡会議を開催し、団体との連絡調整や意見交換を行った。	文化団体3団体への補助金は平成30年度で終了し、平成31年度から、1%支援制度(市民団体支援金交付制度)へ移行する。 また、市民文化祭参加団体を中心とした文化団体連絡会議を実施することで、団体間の連携を強化するように努めた。	現状維持(具体的な取組を行った)	
38-2. 地域活動団体の支援、連携(2)青少年育成団体の支援、連携	青少年課	実施した	・青少年の健全育成を目的とする団体に対し、活動費の一部を助成した。 ・活動事業に対し後援や各団体間の連携を図ることを支援した。	各団体の会員の高齢化や減少が課題となっている。	現状維持(具体的な取組を行った)				

【資料1】平成29年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H29年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
II 共に作りだす									
2 地域での男女共同参画									
(2) 多様な主体のネットワーク化による連携・協働	① 多様な主体の連携・協働			38-3. 地域活動団体の支援、連携 (3) 青少年学校外活動支援事業実行委員会の支援、育成	青少年課	実施した	・学校の休日等に子どもたちへの様々な体験活動の場や機会を提供している活動団体に対し、消耗品の提供や備品の貸出及び指導者の講習会・研修会等を実施し、活動内容の充実が図られるよう支援した。 ・子ども達が地域のボランティアの指導のもと生活・社会・自然等の様々な体験ができるような場や機会を提供した。 ・各団体がもつ知識や情報を共有する場を設ける等の連携強化に努めた。	団体間で連携を強化することができた。	現状維持(具体的な取組を行った)
				38-4. 地域活動団体の支援、連携 (4) PTA連絡協議会の支援、連携	指導課	実施した	八千代市PTA連絡協議会役員は、市内各小中学校PTA会長・副会長を中心に構成されている。総会や研修会を開催し、子ども・教育・親のために年間を通して活動を行っている。	連携・協働が図れた。今後もICT機器を使った会議時間短縮など、支援を継続していきたい。	現状維持(具体的な取組を行った)
				38-5. 地域活動団体の支援、連携 (5) 地域活動団体の支援、連携	生涯学習振興課(公民館)	実施した	・子ども会や自治会等の地域団体との連携を強化し、相互協力体制の充実を図る。また、その他地域活動に従事する各種団体の支援・育成に努める。 ・公民館全体で、地域の自治会等の総会や役員会の場所提供を行っている。	多様な主体の連携・共同が図れた。今後も継続したい。	現状維持(具体的な取組を行った)
				38-6. 地域活動団体の支援、連携 (6) 講座後の自主グループの支援、連携	教育総務課(郷土博物館)	実施した	八千代土器づくり同好会、竹細工同好会、古文書同好会、篆刻同好会など、博物館主催講座の受講生OBらが中心となって同好会が組織され、原則として毎月1回程度の同好会活動を博物館が支援している。その活動の成果を発表する展示会も当館と連携の形でやっている。また、毎年度の博物館主催講座にも同好会員を講師、講師補助として、受講者の指導に当たるなど活躍の場ともなっている。 ・縄文土器づくり講座開催日数 29年度 3日、28年度 3日 ・縄文土器づくり展示会日数 29年度 37日、28年度 25日 ・竹細工講座開催日数 29年度 1日、28年度 1日 ・竹細工講座展示会日数 29年度 12日、28年度 12日 ・篆刻講座開催日数 29年度 2日、28年度 2日 ・篆刻講座展示会開催日数 29年度 8日、28年度 8日	これらの活動により同好会への加入者も増加し、多様な主体の連携・協働が図られた。今後も引き続き、博物館と同好会の連携を深める必要がある。	現状維持(具体的な取組を行った)
				39. 関連施設、機関との連携	生涯学習振興課(公民館)	実施した	各関連施設との連携を図ることにより、活動の充実に努めた。 ・社会教育施設との連携 公民館、図書館、郷土博物館、文化伝承館、総合生涯学習プラザ等との連携を図る。 ・男女共同参画センター事業への協力。 ・地域子育て支援ネットワーク事業への参加。 ・生涯学習振興課との連携。	多様な主体の連携により、情報交換の場が広がり、充実した市民サービスへの一助となった。	現状維持(具体的な取組を行った)
				40. 広報女性版の発行	広報広聴課	実施した	女性版記者との協力で、下記の内容で発行した。 ・7月15日号: やちよ農業交流センターのイベントや講座の紹介 ・1月15日号: 市内の小中学校で実施している食育授業の紹介 ・広報女性版掲載回数 29年度 2回、28年度 2回	やちよ農業交流センターや市内小学校に協力してもらい、多様な主体との連携・協働により発行できた。なお当事業は、昭和49年に誕生し、女性目線で社会や生活について考える企画があっても良いのではということで形になったもので、目的が十分果たされたことと認識しているため、29年度をもって終了する予定。	積極的な推進が見られた
3 国際社会への理解と交流の推進									
(1) 平和と国際社会への理解	① 国際社会を理解するための意識づくり			41-1. 国際社会を理解するための意識づくり (1) 国際平和作文コンクール	指導課	実施した	八千代こども国際平和文化事業の一環として、子どもたちの国際理解を深めるため、小学5年生と中学2年生を対象に、国際平和作文コンクールを実施した。 ・応募率(小学校) 29年度 0.93、28年度 0.91 ・応募率(中学校) 29年度 0.897、28年度 0.828	子どもたちの国際社会を理解するための意識づくりが図れた。	積極的な推進が見られた
				42-1. 外国語指導助手による国際教育の推進 (1) 外国語指導助手派遣事業	指導課	実施した	・英語の授業(5,6年生のみ) H29 小学校30回、H28 小学校30回 ・イングリッシュアワーを小学3~6年の希望者対象に、公民館で実施(ALTと一緒に給食・工作) H29 13回 465人、H28 10回 391人 ・英語教材の作成や教員研修へのALTの参加 ・ALTの人数 H29 民間派遣人数 8人 直接雇用 8人、H28 民間派遣人数 7人 直接雇用 8人	児童の外国の生活や文化・言語に対する興味を深め、国際社会を理解するための意識作りが図れた。	現状維持(具体的な取組を行った)
				43. 情報の提供	男女共同参画課	実施した	下記の各種パンフレット・ポスターを男女共同参画センターロビーに掲示し、周知を行った。 ・13歳で結婚。14歳で出産。恋は、まだ知らない。 ・日本でも人身取引が。 ・気づいてください。日本での人身取引	センター来所者が限られているため、周知効果が低い。	現状維持(具体的な取組を行った)
				44-1. 外国人に対するコミュニケーション支援	総合企画課	実施した	・多文化交流センターにおいて在住外国人に対して通訳を配置し、各種相談、情報提供を行った。 ・同センター内で小中学校の入学説明会の時期に合わせて学用品を展示し、日本の学校についての情報提供を行った。 ・多言語による生活情報メール配信を、毎月1~3回程度行った。 ・多文化交流センター相談件数 29年度 1,286件、28年度 1,490件 ・多言語による生活情報メール登録者 29年度 276人、28年度 191人	日本を理解するための意識づくりが図られた。引き続き実施していく。多言語情報メールの周知を更に図りたい。	現状維持(具体的な取組を行った)
				44-2. 日本語の学習機会の提供	総合企画課	実施した	外国人へ市国際交流協会主催の日本語教室を案内するとともに、同教室の支援を行った。 ・大人向け9教室生徒数(延べ人数) 29年度 2,293人、28年度 2,159人 ・子ども向け1教室生徒数(延べ人数) 29年度 464人、28年度 484人	日本語の学習機会をより多くの外国人へ提供できた。引き続き日本語教室の周知及び同教室を支援していく。	現状維持(具体的な取組を行った)
				44-3. 多言語による防災に関する情報提供	総合防災課	実施した	・多言語(英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語版)パンフレットを支所などで外国人転入者に配布した。また、多文化交流センターに配置した。 ・災害用倉庫に多言語カードを配置した。 ・多言語(英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語)防災情報メールで災害情報の配信を行った。 ・総合企画課国際推進班と共同で外国人のための防災訓練を実施した。 防災訓練参加者数 29年度 70人、28年度 46人	自然災害の多い日本を理解するための意識づくりが図られた。	積極的な推進が見られた
				45. 外国人児童生徒の教育推進事業	指導課	実施した	日本語指導が必要な外国人児童生徒に対し教育相談を行うことができる者を派遣し、外国人児童・生徒、保護者、教員等に対して日本語指導や学習面・生活面の適応等の教育相談を実施した。 ・外国人児童・生徒の相談者数 29年度 45人、28年度 42人	相談体制の充実を図ることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)

【資料1】平成29年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H29年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
II 共に作りだす									
3 国際社会への理解と交流の推進									
(1) 平和と国際社会への理解	(2) 国際交流の推進	① 国際社会を理解するための意識づくり	46. 多文化共生の地域づくり	総合企画課	実施した	市国際交流協会が多文化交流センターを活用し実施するアミーゴ子ども日本語教室及びオープンセサミ英語教室を支援した。 ・多文化交流センター交流室利用者数(延べ人数) 29年度 1,326人, 28年度 1,451人	国際社会への理解を深めるとともに、外国人に対するコミュニケーション支援の充実を図った。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			47. 国際交流協会との連携	総合企画課	実施した	イベントにおける企画・運営や広報等のバックアップ、日本語教室等の会場確保、情報交換や課題の解決に向けた定例会議への参加等を行い、国際交流協会との連携を図った。また、八千代市国際交流協会補助金交付要綱に基づき補助金を交付し、事業が円滑に実施されるよう支援を行った。 ・八千代市国際交流協会補助金 29年度 1,329,072円, 28年度 1,080,393円	国際交流の推進に繋がっている。今後も継続したい。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			48-1. 国際交流事業の充実 (1) 姉妹都市タイラー市との交流事業の支援	総合企画課	実施した	平成29年10月28日～11月1日の5日間にわたり、姉妹都市であるタイラー市から21名の親善訪問団を受入れた。受入にあたり立ち上げられたタイラー市親善訪問団受入実行委員会に対し補助金を交付した。姉妹都市提携25周年記念式典をはじめとする市民参加型の各種交流行事の開催により、タイラー市との交流を深めた。 ・タイラー市親善訪問団受入実行委員会補助金 29年度 1,243,989円, 28年度 なし ・姉妹都市提携25周年記念式典参加者 29年度 669人, 28年度 なし	タイラー市との国際交流の機会の充実を図った。	積極的な推進が見られた	
			48-2. 国際交流事業の充実 (2) 子ども親善大使の派遣、受け入れ事業	指導課	実施した	八千代子ども国際平和文化基金事業であるタイ王国バンコク都への八千代子ども親善大使の派遣と、バンコク子ども親善大使の受け入れ事業を実施した。さらに、子ども親善大使のOGOB会「ダイラックアン」国際交流活動を支援した。	バンコク子ども親善大使の受け入れでは、学校交流会で、バンコク親善大使と訪問校の全校の児童および近隣の中学校の一部生徒と交流ができ、国際交流の充実をはかることができた。また、受け入れの際に行っているホームステイでは、ホームステイ期間中だけでなく、継続的な交流が図ることができていることは、評価できる。 派遣においては、自主的に動くなど、事前研修の成果が良く表れていた。課題としては、昨年度同様に今以上に子ども同士が関わる場面を増やしていくことである。	現状維持(具体的な取組を行った)	
III 自分らしく生きる									
1 働く場における男女共同参画									
(1) 職場における意識啓発と就労支援	① 企業・団体・公的機関及びその従業員に対する意識啓発	② 男女共同参画推進のための相談機関等の情報提供	49-1. 職場における男女平等意識の啓発 (1) 男女平等の意識啓発	商工課	実施した	国及び県等からのチラシを窓口に掲示し、男女平等に関する情報を提供した。 【設置チラシ】 タイトル「労働条件に関する問題解決の第一歩」 「一歩から。社員いきいき！元氣な会社宣言企業募集」	より多くの人に情報を提供できるよう周知方法を検討する。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			50. 市職員への意識啓発	職員課	実施した	・子育てや家族介護に関する休暇・給付制度等の資料の作成、周知を図った。 ・火曜日及び木曜日の終業時間に庁内放送を実施し、時間外勤務の抑制やワーク・ライフ・バランスの大切さを呼びかけた。 ・推進委員会を開催し、庁内での情報共有を図った。	・子育て等に係る有給休暇が充実しているため、年次有給休暇の取得率が目標通り増えていない。 ・庁内放送の実施により、時間外勤務の抑制が図られている。引き続きワークライフバランスの啓発をしていきたい。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			51. 相談機関等の情報提供	商工課	実施した	市ホームページ及び国及び県等からのチラシを窓口に掲示し、企業等に対して男女平等への認識を深めるための情報を提供した。 【設置チラシ】 タイトル「女性活躍推進法への対応はお済みですか？」 「認定マーク「えるぼし」を取得して、優秀な人材を確保」 「働きながらお母さん・お父さんになる皆様へ」	より多くの人に情報を提供できるよう周知方法を検討する。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			52. 家族経営協定の締結促進	農政課	実施した	女性や後継者等が果たす役割を適正に評価し、積極的に経営に参画できるよう、県等と連携を図りながら家族経営協定の締結を促進した。 ・実施回数・参加者数 29年度 7回, 68人, 28年度 5回, 63人 ・家族経営協定締結数 29年度 28件, 28年度 28件	家族経営協定の締結数は変わらなかったが、次年度以降の締結に向け、県等の関係機関と連携して支援することができた。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			53-1. 講座の開催 (1) 女性農業従事者を対象とした講座等の開催	農政課	実施した	やちよ農業交流センターにて、女性農業従事者を対象として実施している「やちよ農と食の学び舎」で講習及び視察を行った。 ・実施回数・参加者数 29年度 7回, 68人, 28年度 5回, 63人 ・道の駅くりもと等(視察)参加者数 29年度 18人 ・農機具の使い方研修 参加者数 29年度 9人 ・豆腐パン作り 参加者数 29年度 9人 ・そばについての講義・そば打ちの実習 参加者数 29年度 7人	女性農業従事者の意識啓発と就労支援につながった。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			54-1. 女性リーダーの育成 (1) 女性指導農業者及び農業者等の育成	農政課	実施した	・新たな女性農業者・指導農業者の認証に向け、県との協議により対象者等の検討を行った。 ・農業後継者の育成活動及び農業者の社会的評価の向上活動を行っている八千代市農業者等協会の視察研修会、情報交換会の場で県と協力し意識啓発を行った。 ・八千代市農業者等協会役員数 29年度 男 5人・女 1人, 28年度 男 4人・女 2人 ・指導農業者数 29年度 男 15人・女 2人, 28年度 男 15人・女 2人 ・農業者数 29年度 男 12人・女 3人, 28年度 男 12人・女 3人	監事に女性が就任することで女性農業者の地位向上へとつなげることができた。女性農業者及び女性指導農業者を増やすことが課題である。	現状維持(具体的な取組を行った)	
54-2. 女性リーダーの育成 (2) 女性農業者団体への支援	農政課	実施した	若手女性農業者組織のJA八千代市フレッシュミズ・アンシャンテ倶楽部の活動に対して県と連携し、同倶楽部からの依頼に応じて総会への出席・イベントの手伝い・視察研修への同行を行った。 ・総会 実施回数 29年度 1回, 28年度 1回 ・視察研修 実施回数 29年度 1回, 28年度 1回 ・料理研修 実施回数 29年度 1回	県と連携してサポートを行い、女性農業者の専門知識の向上、意識啓発につなげることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)				

【資料1】平成29年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H29年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
Ⅲ 自分らしく生きる									
1 働く場における男女共同参画									
(1) 職場における意識啓発と就労支援	③ 農業に従事する女性の地位向上のための意識づくり	55. 農業部門における政策や方針決定の場への女性の登用促進	農政課	実施した	八千代市農業士等協会会長が女性から男性に交代したことに伴い、農業政策の諮問機関である八千代市農政審議会の女性委員の割合が2割となった。	・実施回数・参加者数 29年度 7回 68人, 28年度 5回 63人 ・八千代市農政審議会委員数(男・女) 29年度 男 8人・女 2人, 28年度 男 7人・女 3人	女性委員の割合が下がってしまったが、引き続き女性のみの推薦枠を確保し、女性委員割合目標値の35%を目指していきたい。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			① 男女の職域拡大	商工課	実施した	・国及び県等からのチラシを窓口に掲示し、情報を提供した。 ・男女共同参画課主催の「女性起業家の見本市」に商工課のブースを設けてチラシを掲示した。 【設置チラシ】 タイトル「男女雇用期間均等のあらし」 「保育園などに入れない場合、2歳まで育児休業が取れるようになります！」	より多くの人に情報を提供できるよう周知方法を検討する。	現状維持(具体的な取組を行った)	
				消防総務課	実施した	・消防職員採用説明会を実施し、女性職員の募集を図った。 ・消防職員採用にともなう学校訪問を行い、女性職員の募集啓発を行った。 ・女性3人が受験し1人の職員を採用した。 ・消防職員採用説明会を実施 29年度 男 51人・女 4人, 28年度 実施なし ・消防職員採用にともなう学校訪問 29年度 高校 13校・専門 1校・大学 12校, 28年度 高校 8校・専門 1校・大学 3校 ・女性職員の採用 29年度 1人, 28年度 1人 ・女性職員の千葉県消防学校入校 29年度 1人(初任科), 28年度 入校なし	今後も、女性職員の採用に向けた取り組みを行い、職域拡大を促進していく。	現状維持(具体的な取組を行った)	
				長寿支援課	実施した	就労意欲のある高齢者の社会参加を促進するため、運営費の補助等により、シルバー人材センターの運営を支援した。 ・会員数 29年度 男 515人 女 98人 28年度 男 544人 女 104人 ・年間就業者数 29年度 男 494人 女 80人 28年度 男 510人 女 82人	・本人の希望を尊重して男女の区別なく、就労の機会及び社会参加を促進することができた。 ・65歳定年時代を迎え高齢者雇用が推進される中、シルバー人材センターの会員数については、前年度から減少しており、就労の機会及び社会参加を促進するために会員数のさらなる拡大に向けた取り組みが課題となっている。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			(2) 就労による経済的自立の支援	② 職業に関する相談・情報提供機能の充実	商工課	実施した	・就業支援として、国の機関である地域職業相談室の維持に努めた。 ・ハローワークとの共催で、企業と求職者の個別面談の機会を設ける「八千代市地域職業相談室ミニ面接会」を実施した。 ・地域職業相談室 相談件数 29年度 7,512件, 28年度 5,664件 ・八千代市地域職業相談室ミニ面接会 実施回数 29年度 2回, 28年度 2回	職業に関する相談及び情報提供機能の充実に繋がっている。	現状維持(具体的な取組を行った)
					商工課	実施した	・国及び県等からのチラシを窓口に掲示し、企業及び労働者に対して情報を提供した。 ・男女共同参画センター主催事業「女性起業家の見本市」の周知を図った。 【設置チラシ】 タイトル「チャレンジママの再就職ガイド」	より多くの人に情報を提供できるよう周知方法を検討する。	現状維持(具体的な取組を行った)
					男女共同参画センター	実施した	講座の実施 ・市内の女性起業家の活動と起業情報を紹介するイベントを商工会議所、商工課と共催で実施。 ・男女共同参画週間事業「女性起業家の見本市～やちよの素敵なお店コレクション～」6月24日(土) 29年度 出展者29人, 来場者94人 28年度 出展者37人, 来場者166人 ・女性の起業支援として市内の女性起業家に協力を得て、体験談等のパネルディスカッションを実施。 女性の起業支援セミナー「わたしの起業ストーリー」6月24日(土) 29年度 参加者22人, 保育0人 28年度 参加者18人, 保育1人 ・女性を対象にキャリアプランの立て方、就職情報、就職準備などについて学ぶ講座を実施。 女性のための就職応援ナビ(全2回) 7月3日(月), 4日(火) 29年度 参加者19人, 保育5人 28年度 参加者21人, 保育1人 ・女性を対象に起業についての学ぶ講座と個別相談を千葉県産業振興センター(よろず支援拠点)、商工課と共催で実施。 女性のための創業セミナー「好きを仕事に！」～私らしいローリスク起業～ 8月3日(木) 29年度 参加者20人, 保育4人 28年度 参加者23人, 保育4人 ・孫の世話をする祖父母を対象に孫との関わり方を学ぶ講座を実施。孫育講座「これから孫を預かる人へ」1月30日(火) 29年度 参加者16人	就労のノウハウを学べたことで、女性の経済的自立に繋がっている。	積極的な推進が見られた
						職員課	実施した	職場において、女性と男性が均等な機会を与えられ、女性の意欲と能力を十分に発揮することを配慮した人員の配置を行った。性別の区別なく、個々の能力により主査相当職や副主幹相当職への昇格を行った。 ・平成30年4月1日現在女性副主幹相当職人数(総数125人) 29年度 42人, 28年度 59人 ・平成30年4月1日現在女性主査相当職人数(総数239人) 29年度 84人, 28年度 98人	部局により、男女比のばらつきが発生している。また、産休・育休者への対応が課題となっている。

【資料1】平成29年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H29年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
Ⅲ 自分らしく生きる									
1 働く場における男女共同参画									
(3) 多様な働き方への支援			① 育児・介護休暇等制度、再雇用特別措置等の啓発	63. 子育て、介護と仕事との両立のための制度等の周知	男女共同参画課	実施した	下記の各種パンフレットを男女共同参画センターロビーに掲示し、周知を行った。 ・千葉労働局雇用均等室ガイド ・男女雇用機会均等法、育児・介護休業法のあらまし ・働きながらお母さん・お父さんになるみなさまへ ・働きながらお母さんになるあなたへ	必要な人に情報を届ける手段を検討。	現状維持（具体的な取組を行った）
				63. 子育て、介護と仕事との両立のための制度等の周知	商工課	実施した	国及び県等からのチラシを窓口に掲示し、育児休業制度等の情報を提供した。 【設置チラシ】 タイトル「働きながらお母さん・お父さんになる皆様へ」「保育園などに入れない場合、2歳まで育児休業が取れるようになります！」	より多くの人に情報を提供できるような周知方法を検討する。	現状維持（具体的な取組を行った）
			② 労働時間短縮の啓発	64. 労働時間短縮に関する情報提供	男女共同参画課	実施した	サンカク通信に「おとう飯キャンペーン」についての記事を掲載し、併せて男性の家事・育児時間の統計にも触れ、家庭への参画を図ることでワークライフバランスの啓発につなげた。	「ワークライフバランス」について、易しい文章で労働時間短縮の啓発を行えた。	現状維持（具体的な取組を行った）
				64. 労働時間短縮に関する情報提供	商工課	実施した	・国及び県等からのチラシを窓口に掲示し、ワークライフバランスに関する情報を提供した。 【設置チラシ】 タイトル「チャレンジママの再就職ガイド」「一歩から。社員いきいき！元気な会社宣言企業募集」 ・習志野市との共催で、ワークライフバランスに関する「労働講演会」を実施した。 ・労働講演会 29年度 1回、28年度 0回	より多くの人に情報を提供できるような周知方法を検討する。	現状維持（具体的な取組を行った）
				65. 母性保護に関する啓発活動の実施	男女共同参画課	実施した	「女性労働者の母性健康管理のために」等の各種パンフレットを男女共同参画センターロビーに掲示し、周知を行った。	商工会議所と連携するなど、必要な人に情報を届ける手段を検討。	現状維持（具体的な取組を行った）
65. 母性保護に関する啓発活動の実施	商工課	実施した	国及び県等からのパンフレットを窓口に掲示し、企業及び労働者に対して母性保護に関する情報を提供した。 【設置パンフレット】 タイトル「こんなときは労働委員会をご利用ください』『労使間のトラブルはあっせん解決』『労働条件に関する問題解決の第一歩』	より多くの人に情報を提供できるような周知方法を検討する。	現状維持（具体的な取組を行った）				
2 家庭における男女共同参画									
(1) 家事・育児への共同参画			① 家事・育児への意識啓発と学習機会の充実	66-1. 子育て体験学習の推進(1)パパとママの子育て教室	母子保健課	実施した	夫婦で子育てする意識を啓発するために、沐浴実習やパパ同士・ママ同士の座談会をメインとした子育て教室を開催した。 ・開催回数 29年度 12回、28年度 12回 ・参加者数 29年度 パパ 226人 ママ 234人 28年度 パパ 216人 ママ 220人 ・赤ちゃんと生活するイメージができた人の割合 29年度 パパ 96.5% ママ 98.7% 28年度 パパ 95.4% ママ 99.5% ・赤ちゃんのお世話の方法がイメージできた人の割合 29年度 パパ 98.7% ママ 100% 28年度 パパ 98.1% ママ 99.5% ・夫婦で協力して子育てする大切さを感じた人の割合 29年度 パパ 99.6% ママ 98.7% 28年度 パパ 99.1% ママ 98.2%	事業後の参加者アンケートより、家事・育児への共同参画意識を啓発する機会となっており、概ね目標は達成できたと考える。	現状維持（具体的な取組を行った）
				67. 男性のための講座等の実施	生涯学習振興課(公民館)	実施した	八千代台公民館主催「基礎から始める男の料理」(全4回) 29年度 延べ参加者数 45人 28年度 延べ参加者数 47人	今後も引き続き実施し、家事等を男女が行う意識作りと共に、男性が家事等を身に付け、家事への男性の参加を促進していきたい。	現状維持（具体的な取組を行った）
			(2) 介護への共同参画	① 介護への意識啓発と学習機会の充実	68. 家族介護者支援の実施	健康づくり課	実施した	家族介護者の介護負担の軽減を目的に下記の3事業を開催した。 1)「体に負担の少ない介護の体験教室」 開催回数:1回、参加者数:30人(男:3人、女:27人) 2)介護する家族のための交流会 開催回数:1回、参加者数:10人(男:3人、女:7人) 3)口腔ケア研修会 開催回数:1回、参加者数:30人(男:5人、女:25人) この他、男女共同参画センターや公民館主催の介護講座等の開催に協力した(回数:2回、参加者数:32人(男:20人、女:12人)) ・実施回数 29年度 5回、28年度 2回 ・参加者数 29年度 男 31人・女 71人、28年度 男 6人・女 34人	年々、市内の要介護者は増加傾向にある。これに伴って、家族介護者も増加していると推察できる。平成29年度は他課からの依頼もあり、平成28年度よりも介護について学ぶ機会を多く提供することができた。今後も、男女ともに介護について学べる機会を提供できるよう取り組む。
69. 高齢者の介護や虐待に関する講座の実施	長寿支援課(地域包括支援センター)	実施した			まちづくりふれあい講座等により認知症サポーター養成講座や、高齢者福祉に関する講座(高齢者の身近な相談窓口の紹介)を行った。 ・認知症サポーター養成講座 29年度 9回 28年度 9回 ・高齢者福祉に関する講座(高齢者の身近な相談窓口の紹介、みんなで守ろう高齢者の権利と生活) 29年度 5回 28年度 3回	男女の別なく、認知症の方への対応や高齢者福祉等に関する学習の機会を提供できた。	現状維持（具体的な取組を行った）		

【資料1】平成29年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H29年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
Ⅲ 自分らしく生きる									
3 多様な生き方を選ぶための条件の整備									
(1) 生涯にわたる学習機会の整備	① 学習機会の整備・拡充		70-1. 生涯学習活動の推進 (1)まちづくりふれあい講座	生涯学習振興課	実施した		市民等が主催する集会等に市職員が講師として出向き、市政の説明や専門知識を生かした講座を行うことで、市民の学習活動を支援した。また講座一覧を掲載したパンフレットを作成し、配布及び市ホームページにて周知を図った。 ・パンフレット配布部数 29年度 1,750部, 28年度 1,750部 ・開催回数 29年度 364回, 28年度 403回 ・延べ参加人数 29年度 9,468人, 28年度 13,713人	学習機会の整備・充実が図れた。今後も引き続き行っていく。	現状維持 (具体的な取組を行った)
			71. 講座等の開催やグループ活動への支援	男女共同参画センター	実施した		・登録団体への施設貸出や情報提供を行った。 ・支援団体の広報紙などをセンター内に配架した。 ・男女共同参画週間事業「女性起業家の見本市～やちよの素敵なお店コレクション～」の会場で支援団体7団体の活動紹介を行った。 ・女性学講座を支援団体「らいてうの会」との共催で行った。 ・主催講座で支援団体の紹介を行った。 ・女性起業家の有志団体「やちよ小町」の活動支援を行った。	・支援団体の活動を支援できた。 ・女性起業家の有志団体「やちよ小町」の立ち上げ・活動支援ができた。	現状維持 (具体的な取組を行った)
			71-1. 講座等の開催やグループ活動への支援 (1)市民文化祭の開催、文化団体活動の支援	文化・スポーツ課	実施した		市内を中心に活動する文化団体・19団体、市内学校・5校、各公民館・9館を中心に33団体による市民文化祭を開催した。 参加者 10,394人(平成28年度 11,727人)、参観者 40,548人(平成28年度 41,642人)	参加者・参観者数は、前年度と比較すると共に若干減少している。今後とも、参加者や参加団体の募集活動に努める等、参加者を増やすための工夫をしていく。	現状維持 (具体的な取組を行った)
			71-2. 講座等の開催やグループ活動への支援 (2)講座等の開催、サークルの支援	生涯学習振興課(公民館)	実施した		・主催講座の開催 189講座 参加延べ人数 8,160人(前年度: 79講座, 参加延べ人数4,845人) ・公民館まつりの実施 来場者総数 7,749人(前年度:11,213人) ・登録サークルへの支援 サークル数 363サークル 会員数 5,676人 利用延べ人数 101,634人(前年度:366サークル, 会員数 5,783人, 利用延べ人数102,825人)	学習機会の整備・充実が図られた。	現状維持 (具体的な取組を行った)
			72. 図書館ネットワークの活用	生涯学習振興課(図書館)	実施した		図書館ネットワークにより、中央図書館を中心として資料・情報の共有化を図り、利用者に向けた情報提供及び情報発信に努めた。	学習機会の整備・拡充が図られた。今後も利用者のニーズに応じられるようネットワークの活用を行ってきたい。	現状維持 (具体的な取組を行った)
	② 子ども連れで行くことができる施設の整備	73. 子ども連れで行くことができる施設の整備、活用	子育て支援課(子ども支援センターすつぷ21)	実施した		地域子育て支援センター及び子ども支援センターで各種親学習支援事業を講座開催。地域ボランティアの協力により一時保育を実施し、子ども連れでの参加がしやすい環境整備を行った。 ・「みんなで食育」開催実績 29年度:31回実施, 参加者326人, 保育人数177人, ボランティア56人 28年度:33回実施, 参加者214人, 保育人数223人, ボランティア69人 ・子育てワークショップ「おしゃべり広場」開催実績 29年度:22回実施, 参加者98人, 保育人数115人, ボランティア87人 28年度:25回実施, 参加者114人, 保育人数133人, ボランティア110人	子ども連れでも参加しやすい環境整備を図ることができた。今後も親学習支援の事業に子ども連れが参加できるよう、継続的に地域のボランティアの協力を得られるようにしたい。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
		73. 子ども連れで行くことができる施設の整備、活用	男女共同参画センター	実施した		下記の講座の実施時に保育ボランティアに依頼し一時保育を準備した。 ・女性の起業応援セミナー「わたしの起業ストーリー」 6月24日(土) ・女性のための就職応援ナビ(全2回) 7月3日(月), 4日(火) ・女性のための創業セミナー「好きを仕事に！」～私らしいローリスク起業～ 8月3日(水) ・女性の起業応援セミナー「わたしの起業ストーリー」 29年度 参加者 22人, 保育 0人, 28年度 参加者 18人, 保育 1人 ・女性のための就職応援ナビ 29年度 延べ参加者 19人, 保育 5人, 28年度 延べ参加者 21人, 保育 1人 ・女性のための創業セミナー「好きを仕事に！」 29年度 参加者 20人, 保育 4人, 28年度 参加者 23人, 保育 6人	子ども連れでの学習の機会を提供できた。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
		73. 子ども連れで行くことができる施設の整備、活用	生涯学習振興課(公民館)	実施した		家庭教育や親子学級を実施する際、保育ボランティアに依頼して一時保育を準備した。また、親子で参加できる主催講座を企画した。 ・一時保育利用者数 29年度 106人 28年度 124人	子ども連れでの学習の機会を提供できた。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
		73. 子ども連れで行くことができる施設の整備、活用	生涯学習振興課(図書館)	実施した		・はじめての絵本コーナーを充実させ、赤ちゃん向けの絵本選びがしやすい環境を整えた。 ・保護者向けの子育ての本を集めた子育てコーナーを充実させ、子ども連れで利用しやすい環境を整えた。 ・中央図書館では無料のショート託児サービス等を行い、保護者がゆっくりと図書館を利用できる環境を整備した。 29年度 実施回数143回, 利用人数2,554人 28年度 実施回数150回, 利用人数2,266人	子ども連れでも利用しやすい環境の整備を図った。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
		73-1. 子ども連れで行くことができる施設の整備、活用 (1)図書館における児童サービスの充実、利用促進	生涯学習振興課(図書館)	実施した		・0～1歳向け, 2～3歳向け, 4歳以上向け等年齢に応じたおはなし会を開催した。 ・児童向けのイベントを各館で開催した。(図書館クイズ, 映画会等)	子ども連れで行ける施設の活用が図られた。今後も対象者に合わせたサービスを実施していききたい。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
	(2) 生きがい対策の推進	① 地域活動への参加の促進	74-1. 高齢者の生きがい対策の充実 (1)単位老人クラブ、長寿会連合会の運営費補助	長寿支援課	実施した		老人クラブの健全な発展を図るため、老人クラブ及び長寿会連合会への補助金を交付した。 補助金 ・単位老人クラブ分 4,276,000円 ・長寿会連合会分 2,994,400円 ・会員数 29年度 男 1,168人 女 1,645人 28年度 男 1,156人 女 1,657人	高齢者の社会参加と生きがい対策の充実を図ることができた。新規会員の獲得が課題である。	現状維持 (具体的な取組を行った)

【資料1】平成29年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号、事業名	担当部署	H29年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
Ⅲ 自分らしく生きる									
3 多様な生き方を選ぶための条件の整備									
(2) 生きがい対策の推進	① 地域活動への参加の促進			74-2. 高齢者の生きがい対策の充実 (2) 連合会主催事業運営協力	長寿支援課	実施した	長寿会連合会主催の各事業の運営に対し、求めに応じて協力している。今年度は長寿会連合会主催の各イベントに出席した。	今後も要望があれば対応していく。	現状維持(具体的な取組を行った)
				74-3. 高齢者の生きがい対策の充実 (3) ふれあい大学校運営	長寿支援課	実施した	一般教養コース及び健康福祉コースにて延べ年間52回の授業を提供し、186人の卒業生を輩出した。	高齢者が新しい知識と教養を身につけるとともに広く仲間づくりを図り、高齢者の文化的活動等への参加を促進し、高齢者の生きがい対策の充実を図れた。	現状維持(具体的な取組を行った)
				74-4. 高齢者の生きがい対策の充実 (4) 高齢者学習グループ支援、育成	生涯学習振興課	実施した	市内在住の20人以上の60歳以上の人で構成するグループを高年齢学習グループとして登録し、まちづくりふれあい講座のパンフレットの送付等を行い、学習活動の支援を行った。 ・登録グループ数 29年度 10グループ、28年度 11グループ ・会員数 29年度 451人、28年度 495人	高齢者学習グループの学習活動を支援することができた。周知方法について検討したい。	現状維持(具体的な取組を行った)
				75-1. ボランティアの指導力の活用 (1) ふれあい教室	生涯学習振興課	実施した	わら工芸、紙工芸、折り紙、囲碁、菊づくり、日本の伝統文化と江戸しぐさ、長寿会交流(昔遊び)の7つのボランティア団体を、市内の小・中学校や学童保育所、幼稚園、保育園等に派遣し、世代間や地域間での交流の場を提供した。 ・延べ参加者数 29年度 8,252人、28年度 8,111人 ・延べ指導者数 29年度 1,267人、28年度 1,271人 ・延べ実施回数 29年度 158回、28年度 154回	地域活動への参加推進や学習機会の充実につながった。	現状維持(具体的な取組を行った)
				75-2. ボランティアの指導力の活用 (2) 伝承文化支援活動	文化・スポーツ課(文化伝承館)	実施した	「結の会」などのボランティア団体に協力してもらい、下記の事業を行った。 ・昔遊び事業 竹とんぼ、ベーゴマ、けん玉など昭和の時代の昔懐かしい遊びを体験してもらい、次世代へ継承していく。5・10・3月に伝承館で実施。その他、市川学園、グリーンヒルキッズへ支援。延べ参加人数 H28 120人、H29 118人 ・物づくり事業 昔懐かしい遊び道具などの作り方を習得する。H29年度は水鉄砲、竹細工、正月かざり、凧、お雛さまを作成。延べ参加人数 H28 101人、H29 193人 「昔遊び」と「物づくり事業」のボランティアスタッフは「結の会」。H28 24人(男9、女15) H29 13人(男3、女10) ・紙芝居と昔話の会 八千代市の昔話を素材として館が作成した紙芝居を見たり、絵本の昔話を聞いたり、読んだりする。毎月第1・3水曜日に開催。延べ参加人数 H28年388人、H29年324人。ボランティアスタッフは4人(男2、女2)	市民ボランティアの知識や技能を次世代の地域の人々に伝えていきながら、心のふれあいを図ることが出来た。課題点としては、ボランティアスタッフの高齢化による減少である。広く会員を募っていききたい。	現状維持(具体的な取組を行った)
	② 学習の成果をいかす機会の提供			76-1. 学習成果発表の場の提供 (1) 市民文化祭の開催	文化・スポーツ課	実施した	市民文化祭のポスターを1,000部を作成するとともに、リーフレットを2,500部を作成した。また、広報やちよ、ホームページへの記事の掲載とあわせ、やちよイベント情報メールを配信し、広報活動に努めた。また、ポスターを見て興味を持っていただいた人に、リーフレットを配布した。	学習の成果を活かす機会を提供でき、生きがいにつながっている。また、周知を積極的に行うことで、参加者が増加した。	現状維持(具体的な取組を行った)
				76-2. 学習成果発表の場の提供 (2) 公民館まつりの開催	生涯学習振興課(公民館)	実施した	サークル連絡会との共催で、各公民館サークルの日頃の活動の成果を発表するとともに、その成果を地域に還元することを目的とする公民館まつりを実施した。参加サークル数 352サークル(前年度:362サークル)	学習の成果を活かす機会を提供でき、生きがいにつながっている。	現状維持(具体的な取組を行った)
				77-1. 学習成果の活用 (1) スポーツ指導員認定講習会	文化・スポーツ課	実施した	各種スポーツのスポーツ指導員養成を目的とする講習会を開催した。 実施日:平成30年2月3日、24日 会場:総合生涯学習プラザ多目的ホール 内容 1 スポーツフォーラム「水球のコーチングより学ぶ」 2 スポーツセミナー「スポーツ障害について」 ・八千代市スポーツ指導員講習会(スポーツフォーラム、スポーツセミナー)実施回数 29年度 2回、28年度 4回 ・八千代市スポーツ指導員講習会(スポーツフォーラム、スポーツセミナー)参加者数 29年度 207人、28年度 328人	スポーツを指導するうえで必要となる知識を取得し、本市のスポーツ指導員の資力が向上することにより、スポーツに関わる一人ひとりの生きがいや、地域活動に寄与している。この講習会の新規参加者は、少年野球とミニバスケットボールの2種目からの参加者が多いが、子どもの成長とともに指導者も入れ替わるため、指導員としての定着率が低いことが課題である。また、毎年参加している更新希望者については徐々に高齢化が進んでいることが課題となっている。	現状維持(具体的な取組を行った)
				77-2. 学習成果の活用 (2) 青少年団体指導者養成講座の開催	青少年課	実施した	青少年団体指導者養成講座「友・遊・カレッジ」全5回を開催し、青少年健全育成に必要な知識と技術を身に付けることを支援した。平成29年度から、働いている人達も受講しやすいように、開催日を木曜日から土曜日に変更した。29年度 参加人数 4人、28年度 参加人数 3人	指導者の資質向上が図れ、地域での青少年育成活動を行うことができた。	現状維持(具体的な取組を行った)
				77-3. 学習成果の活用 (3) 縄文土器づくり講座、竹細工講座、篆刻(てんこく)講座の開催	教育総務課(郷土博物館)	実施した	・縄文土器づくり講座:八千代土器づくり同好会と連携して実施。受講生の作品も出品した「縄文土器作品展」を併せて開催、見学者1,002名。受講生数 29年度 17人、28年度 56人 ・竹細工講座:竹細工同好会と連携して実施。受講生の作品も展示した「竹細工作品展」を併せて開催、見学者1,056名。受講生数 29年度 22人、28年度 29人 ・篆刻講座:篆刻同好会と連携して実施。受講生の作品を展示した「篆刻作品展」を併せて開催、見学者615名。受講生数 29年度 38人、28年度 31人	それぞれの講座受講生を中心として同好会が組織され、博物館との連携を深め、博物館主催講座の講師として、また同好会会員による年度活動の成果披露の場としての作品展も充実してきている。学習成果をいかす機会の提供ができ、事業の推進が図られた。29年度も、当館主催講座の受講生の中には、同好会に入会した者もあり、地域活動の拡大支援も充実している。	現状維持(具体的な取組を行った)
(3) 男性の多様な生き方への条件整備	① 男性の日常生活支援			78. 男性のための講座等の実施	生涯学習振興課(公民館)	実施した	八千代台公民館 男性向け料理講座「基礎から始める男の料理」(全4回) 延べ参加者数 45人(前年度 延べ参加者数 47人)	引き続き日常生活を支援し、男性の多様な生き方への条件整備、地域の仲間作りにつなげたい。	現状維持(具体的な取組を行った)

【資料1】平成29年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H29年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
Ⅲ 自分らしく生きる									
3 多様な生き方を選ぶための条件の整備									
	(3) 男性の多様な生き方への条件整備	② 男性の参画が少ない分野への参画推進	79. 男性の多様な分野への参画の支援	男女共同参画センター	実施した		・家事や上手なコミュニケーションの取り方、地域の施設めぐりなど様々な学習をする講座を実施。「男の雑学塾(全6回)」8月25日(金)、9月1日(金)、15日(金)、29日(金)、10月6日(金)、20日(金)。延べ参加人数 29年度 126人、28年度 61人	・男性の参画が少ない家事、介護などの基本的な技術の習得を図り、また、地域での仲間作りの支援と地域活動への参画意識の啓発を行った。	積極的な推進が見られた
Ⅳ 健やかに暮らす									
1 生涯にわたる心と体の健康づくりの推進									
(1) 健康づくりの充実	① 市民が主体的に健康づくりに取り組むシステムづくり		80. 地域組織活動の支援	健康づくり課	実施した		やちよ元気体操の普及と住民主体の健康づくりを推進する人材を育成するため「やちよ元気体操応援隊(以下、応援隊)養成講座」を実施した。また、応援隊が実施する体操グループに対して活動支援を行った。 ・応援隊の登録者数 29年度 423人、28年度 382人 ・応援隊による体操グループ 29年度 屋内 59グループ 屋外 16グループ、28年度 屋内 53グループ 屋外 12グループ	・応援隊の登録者数及び体操グループが増加し、健康づくりの充実が図れた。 ・地域によって体操グループ数に差があるため、体操グループが少ない地域の自治会などへの働きかけを行う。	積極的な推進が見られた
			81-1. スポーツ、レクリエーション事業の実施 (1)市民体力テスト	文化・スポーツ課	実施した		実施日:平成29年6月17日(土)、会場:八千代総合運動公園市民体育館 目的:自分自身の体力・運動能力の現状を明らかにするとともに、体育・スポーツの指導と行政上の基礎資料を得る。 (1)体力テスト会 ①64歳以下:握力、上体おこし、長座体前屈、反復横とび、立ち幅跳び、20mシャトルラン ②65歳以上:握力、上体おこし、長座体前屈、開眼片足立ち、10m障害物歩行、6分間歩行 (2)ロコモ度テスト会 立ち上がり、2ステップ※20歳以上 ・テスト参加者数 29年度 56人、28年度 53人 ・スタッフ数 29年度 27人、28年度 15人	市民が健康づくりに取り組むきっかけづくりができた。今後は、広報活動を積極的に行うことで参加者の更なる増加を図ってきたい。	現状維持(具体的な取組を行った)
			81-2. スポーツ、レクリエーション事業の実施 (2)市民レクリエーション大会	文化・スポーツ課	実施した		実施期間 平成29年9月29日～11月24日 実施場所 総合運動公園市民体育館、多目的広場、総合生涯学習プラザ、佐倉グリーンパークパークゴルフ場等 実施種目 グラウンドゴルフ、インディアカ、ターゲットバードゴルフ、レクダンス、地域散策、パークゴルフ ・グラウンドゴルフ大会参加者数(スタッフ数) 29年度 128(18)人、28年度 155(20)人 ・インディアカ大会参加者数(スタッフ数) 29年度 245(14)人、28年度 270(15)人 ・ターゲットバードゴルフ大会参加者数(スタッフ数) 29年度 22(3)人、28年度 19(5)人 ・レクダンス大会参加者数(スタッフ数) 29年度 51(7)人、28年度 53(9)人 ・パークゴルフ大会参加者数(スタッフ数) 29年度 32(1)人、28年度 36(1)人	レクリエーション活動を通じて、市民が主体的に健康づくりに取り組む場を提供できた。 参加者が固定してしまっており、新規参加者をどのように呼び込むかが課題となっている。	現状維持(具体的な取組を行った)
			81-3. スポーツ、レクリエーション事業の実施 (3)ニューリバーロードレースin八千代	文化・スポーツ課	実施した		本大会は今回で20回目の開催となり、加えて市制施行50周年の節目であることから記念大会として開催した。実行委員会及び市民ボランティア団体等と共に運営した。一人ひとりの体力にあわせ、気軽に参加できるよう、レース種目(距離)と部門(年齢・性別)を多く設定した。 ・実施日:平成29年12月10日(日) ・会場:八千代総合運動公園多目的広場(メイン会場) ・参加人数 29年度 男4,051人、女1,410人 28年度 男3,880人、女1,202人	市民がいいきいと健康的な生活を送れるよう支援できた。	現状維持(具体的な取組を行った)
			81-4. スポーツ、レクリエーション事業の実施 (4)ウォークラリー大会	文化・スポーツ課	実施した		実施日 平成29年11月12日(日) 8.0kmコースを設定し実施。家族・友人・知人同士等様々な年代の参加者がコマ図を見ながら新旧町並みの歴史や文化に触れ、八千代緑が丘駅から桑納地域を経由しゴール地点の総合グラウンドを目指した。 ・大会参加者数 29年度 171人、28年度 204人 ・大会スタッフ数 29年度 31人、28年度 30人	毎年、告知前から問い合わせがある事業に成長し、主体的に健康づくりに取り組める、市民の間に定着した事業と言える。課題点としては、市内小・中学校の学校行事と日程が重なってしまうと参加者が大幅に減少することが挙げられる。	現状維持(具体的な取組を行った)
			82. 女性の健康の保持増進対策の推進	健康づくり課	実施した		・がん検診のお知らせを健康づくり課の講座等や母子保健課主催で実施する講座で周知した。また、小学生(5・6年)、中学生(全学年)の保護者宛てにがん検診の受診勧奨に関するチラシ配布を行った。 ・乳がん検診は、対象の年齢に該当する人(41歳)に無料で受けられるクーポン券を送付した。 ・子宮がん検診は、前年度未受診の30代偶数年齢の人に受診勧奨のはがきを送付した。 ・電話相談・来所相談において、必要に応じて医療機関及び相談窓口として更年期外来や千葉県の「女性のための相談窓口」等の情報提供を行ったほか、がん集団検診時にチラシを設置し、相談機関の周知を行った。 ・小中学生保護者向けチラシ配布数 29年度 8,909件、28年度 9,067件 ・乳がん検診クーポン券発送数 29年度 1,434件、28年度 1,563件 ・子宮がん検診受診勧奨はがき発送数 29年度 4,380件 ・女性の健康に関する相談件数(電話・来所) 29年度 1件、28年度 4件	自分の健康に関心を持つことができるよう支援することができた。相談件数が少ないが、適宜情報提供を行っており、女性の健康の保持増進対策を推進した。今後も電話や来所相談等のPRを行い、周知を図っていく。 女性の健康づくりの推進については、がん検診の受診率等のデータや市民からの要望等を考慮し、ニーズに応じて内容を検討していく。	現状維持(具体的な取組を行った)
			② 健康診査・健康相談等の実施	83-1. 健康診査の実施 (1)特定健康診査、特定保健指導	健康づくり課	実施した		<特定健康診査・特定保健指導> 40歳以上の八千代市国民健康保険加入者及び生活保護受給者、並びに後期高齢者医療制度加入者に受診券を個別発送。その後健診結果から特定保健指導対象者に利用券を送付。平成29年度は受診率向上対策として、受診券個別発送、千葉県国民健康保険団体連合会への支援依頼(電話による受診勧奨)、ハガキによる受診勧奨、並びに集団健診を実施。 ・特定健康診査及び健康診査受診券発送数 29年度 男 24,589人・女 29,244人、28年度 男 25,837人・女 29,758人 ・特定健康診査及び健康診査受診者数 29年度 男 6,599人・女 8,448人、28年度 男 6,786人・女 8,482人 ・特定保健指導利用券発送数 29年度 836人、28年度 887人 ・特定保健指導実施者数 29年度 133人、28年度 133人	受診率が低い場合、平成30年度は上記内容に加え、集団健診の実施会場を追加し、受診率の向上に努める。

【資料1】平成29年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号、事業名	担当部署	H29年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
IV 健やかに暮らす									
1 生涯にわたる心と体の健康づくりの推進									
(1) 健康づくりの充実	② 健康診査・健康相談等の実施			83-2. 健康診査の実施 (2) 各種がん検診	健康づくり課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診の受診券及び案内を、年齢や性別に応じた対象者に個別発送。各種がん検診を実施した。 ・厚生労働省の「がん検診推進事業」として、対象者にクーポン券及びがん検診手帳を送付し、検診に関する知識の普及と受診勧奨を実施。 ・がん検診の精密検査結果未把握者について、八千代医療センター及び一次医療機関に確認することで精密検査の受診勧奨・結果把握に努めた。 ・広報、ホームページ、やちよ健康情報メール、子育て応援モバイル予防接種ナビでの周知や、小中学校の保護者に対してちらしの配布、かかりつけ医からの受診勧奨ちらしの配布等を行った。 ・胃がん検診受診者数 29年度 男 5,286人・女 7,656人, 28年度 男 6,084人・女 8,530人 ・大腸がん検診受診者数 29年度 男 7,261人・女 11,067人, 28年度 男 7,503人・女 11,337人 ・乳がん検診受診者数, 29年度 女 6,574人, 28年度 女 7,430人 ・子宮頸がん検診受診者数 29年度 女 6,869人, 28年度 女 7,592人 ・肺がん検診受診者数 29年度 男 7,730人・女 11,883人, 28年度 男 7,953人・女 12,019人 	前年度に比べ受診率は低下したため、平成30年度は上記に加え、4月末に送付する受診券に受診勧奨ちらしを同封するとともに案内をわかりやすく変更し、受診率向上に努める。	現状維持(具体的な取組を行った)
				83-3. 健康診査の実施 (3) 成人歯科健康診査	健康づくり課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 40歳以上の市民を対象に委託歯科医療機関で成人歯科健康診査を実施。対象者への受診券発送に合わせて広報やホームページで周知した。また、チラシを歯科講演会やその他のイベント等で配布した。 ・成人歯科健康診査受診券発送数 29年度 男 56,359人・女 59,257人, 28年度 男 56,849人・女 59,744人 ・成人歯科健康診査受診者数 29年度 男 909人・女 1,506人, 28年度 男 909人・女 1,611人 	歯の健康の保持増進を通じて健康づくりを推進できた。受診率が伸びず、横ばいであることから引き続き周知を行い受診率向上に努める。	現状維持(具体的な取組を行った)
				84-1. 健康相談の実施 (1) 電話、来所による健康相談	健康づくり課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 電話や来所による相談を実施し、必要に応じ受診勧奨や専門相談機関の紹介等を行った。相談内容は、電話・来所とも生活習慣病に関すること、メンタルヘルスに関するものが上位を占めている。健康相談の窓口については、市広報やホームページへの掲載、健康講座や健康診査等に参加した市民にチラシを配布するなど継続的に周知している。 ・電話相談件数 29年度 221件, 28年度 238件 ・来所相談件数 29年度 47件, 28年度 52件 	健康づくりの充実が図れた。引き続き、やちよ健康情報メール等も活用し、周知に努める。専門機関に関する情報は常に更新することから、相談者に適切な情報が提供できるよう情報収集にも努める。	現状維持(具体的な取組を行った)
				84-2. 健康相談の実施 (2) 精神保健福祉相談	障害者支援課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> メンタルヘルスほっと相談は日常業務で対応が可能なことから廃止した。相談業務の一環として、関係機関、障害福祉サービス事業所等と連携を図り相談支援を継続している。 ・電話相談 29年度 2,227件, 28年度 2,444件 ・来所相談 29年度 3,181件, 28年度 2,871件 ・訪問 29年度 716件, 28年度 732件 	障害を抱えながらも地域で安心して生活が送れるよう支援することができた。	現状維持(具体的な取組を行った)
				84-3. 健康相談の実施 (3) 市職員のメンタルヘルス相談	職員課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 外部委託をしたカウンセラーによる毎月1回のカウンセリング事業—こころの窓口—を実施(予約制)。利用者数 29年度 34人, 28年度 45人 	毎月周知し、予防的な利用を呼びかけている。事業No.85-3に挙げた研修の成果も表れ始めているように思われる。今後も実施する。	積極的な推進が見られた
				85. 健康に関する知識の普及、啓発	男女共同参画センター	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・食事と栄養、口腔ケアについて実習をともなう講座を開催。料理講座「私のご褒美メニュー+」12月15日(金)。29年度 参加者 14人, 28年度 参加者 12人 	栄養を意識した食事のとり方、口腔ケアを意識した健康づくりへの意識啓発ができた。	積極的な推進が見られた
	③ 心身の健康づくり対策の充実			85-1. 健康に関する知識の普及、啓発 (1) 健康教育	健康づくり課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 主催及び依頼に基づく講座を通じて、高齢者の健康づくりに必要な運動や口腔ケアの方法、食生活に関する知識の普及啓発を図った。男性の参加者を増やすため、比較的男性の参加者の割合が高い屋外でも実施した。 ・介護予防を目的とした講座の実施回数 29年度 116回, 28年度 120回 ・同講座の参加者数 29年度 男:1,069人 女:2,311人, 28年度 男:1,365人 女:2,791人 	介護予防を目的とした事業における参加者の性別に関する割合は前年度とほぼ変化がなかった。今後も男女ともに参加を促せるよう取り組んでいきたい。	現状維持(具体的な取組を行った)
				85-2. 健康に関する知識の普及、啓発 (2) こころの健康づくりフェア	障害者支援課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 精神保健分野の理解啓発事業としてこころの健康づくりフェアを実施してきたが、平成27年度以降、障害種別に関係ない障害者理解啓発事業講演会に変更し、実施している。 ・「発達に気になる子どもへの支援について ～医療と福祉の立場から～」参加者 29年度 79人, 28年度 34人 	アンケートや質疑応答での参加者の様子から、発達障害に対する理解の促進を図れたと考える。今後も参加者を増やすための周知を工夫したい。	現状維持(具体的な取組を行った)
				85-3. 健康に関する知識の普及、啓発 (3) 市職員のメンタルヘルス研修	職員課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 市職員のメンタルヘルスへの関心の向上を目的とした各種研修を実施した。 ・新規採用職員研修 I テーマ:心と体の健康管理(4月7日実施) 64人 ・主事研修 テーマ:心のセルフケア(5月30日実施) 32人 ・主査補研修 テーマ:メンタルヘルスの基礎知識(8月30日実施) 12人 ・主査補研修 テーマ:メンタルヘルスのサポート方法(8月28日実施) 17人 ・副主幹研修 テーマ:信頼される部下育成のマネジメント(7月10日実施) 42人 ・管理監督者が果たすべき安全配慮義務及びハラスメント防止対策研修(4月13日実施) 51人 ・公募型研修 こころの健康づくり実践研修(10月26日実施) 14人 	メンタルヘルスについての知識を深め、予防対策等について共通理解を図ることができた。	積極的な推進が見られた

【資料1】平成29年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H29年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
IV 健やかに暮らす									
1 生涯にわたる心と体の健康づくりの推進									
(2) 母子保健の充実	① 個別のニーズに配慮した母子保健の充実			86-1. 健康教育、健康診査、健康相談の実施(1)母子健康手帳交付	母子保健課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出書を提出した妊婦に、母子健康手帳を交付した。交付の際は全ての妊婦に専門職が面接を行い、必要な保健指導や母子保健事業、子育て支援事業についての情報提供を実施。また、養育支援が必要な家庭を早期に把握し、子ども支援センター・地域子育て支援センターや医療機関等との連携により妊娠からの継続支援に繋げた。 ・妊娠早期から継続的な支援に繋がるよう、市役所・子ども支援センター・地域子育て支援センター・市内医療機関に「早めに母子健康手帳の交付を受けましょう」という母子健康手帳の交付場所についての周知ポスターを掲示し、チラシを配布した。さらに、近隣市の産婦人科へチラシを配布した。また、妊娠から子ども支援センター・地域子育て支援センターに繋がるよう、母子健康手帳交付時にマタニティ広場の紹介や活動の説明を行った。 ・妊娠届出数 29年度 1457件、28年度 1465件 ・妊娠12週未満の届出数 29年度 1342件、28年度 1323件 	妊娠12週未満の届出数は、全体の90%以上を維持しており、妊娠早期に専門職が関わりを持ち、母子保健サービスや子ども子育て支援事業についての情報提供や保健指導ができた。また、支援が必要な人には個別のニーズに配慮した支援を行い、母子保健の充実が図れた。	現状維持(具体的な取組を行った)
				86-2. 健康教育、健康診査、健康相談の実施(2)プレママ教室	母子保健課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 初妊婦を対象に、専門職(助産師・栄養士・歯科衛生士)による講話や実習を行ったほか、子ども支援センター・地域子育て支援センターを紹介した。 ・実施回数 29年度 10回、28年度 10回 ・参加者数(対象である初妊婦数) 29年度 189人(680人)、28年度 152人(659人) ・参加率 29年度 27.8%、28年度 23.1% ・妊娠出産について不安が軽減できた人の割合 29年度 96.8%、28年度 95.4% ・友達づくりのきっかけができた人の割合 29年度 86.1%、28年度 85.5% 	事業後の参加者アンケートの結果より、妊娠出産について、不安の軽減や友達づくりの機会となっており、概ね目標は達成できたと考える。	現状維持(具体的な取組を行った)
				86-3. 健康教育、健康診査、健康相談の実施(3)健康診査(妊婦、乳児、幼児)	母子保健課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠から乳幼児期までの切れ目のない支援にむけて、医療機関と連携をとりながら健診事業を推進、健康診査受診者の健康状態を把握することで、異常を早期発見し、適切な治療や養育支援も含めた保健指導につなげている。 ・経済的に負担なく、安心して受診できるように妊婦健康診査は14回分、乳幼児健康診査は2回分の公費負担を行った。 ・H28年4月から子育てアンケート(厚生労働省の母子保健計画「健やか親子21(第2次)」に基づく調査)を実施し、子育てアンケートの結果と健診の間診内容等から支援が必要な人には、課内で対応方法を検討し、各地区担当が支援を実施している。 ・妊婦健康診査 29年度 17,851件、28年度 18,169件 ・乳児健診 29年度 2,908件、28年度 2,898件 ・1歳6か月児健康診査(内科) 29年度 1,533件、28年度 1,498件 ・3歳児健康診査(内科) 29年度 1,536件、28年度 1,564件 	個別のニーズに配慮した母子保健の充実が図れた。今後も引き続き行っていく。	現状維持(具体的な取組を行った)
				86-4. 健康教育、健康診査、健康相談の実施(4)訪問事業(新生児、乳児家庭全戸等)	母子保健課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・新生児訪問 提出された出生連絡票を基に家庭訪問が必要と判断された家庭及び妊娠からの継続支援を行っている家庭に、保健師・助産師による家庭訪問を実施した。産後早期の育児相談、養育支援を行うと共に、産後うつや産婦の不安や疑問、トラブルなどが早期に解消できるように支援した。 ・乳児家庭全戸訪問事業 事業を周知するために、母子健康手帳発行時に本事業について説明を行うとともに、対象者には生後1か月頃に予防接種関係書類と一緒に事業の案内を送付した。生後4か月までの乳児のいる全家庭を、地域に住む子育て経験者である母子保健推進員(一部は保健師、助産師)が訪問した。様々な不安や悩みを聞いたり、子育てに関する情報提供を行うと共に、親子の心身の状況や養育環境の把握・助言を行い、支援が必要な家庭には適切なサービスにつなげた。訪問で会えない場合はその理由を把握するようにした。また、母子保健推進員の資質向上のために、勉強会や研修会を実施した。 ・出生数に対する出生連絡票の提出率 29年度 90%、28年度 84% ・新生児訪問実施件数 29年度 284件、28年度 228件 ・乳児家庭全戸訪問の対象人数 29年度 1,528人、28年度 1,606人 ・乳児家庭全戸訪問で会えた人数 29年度 1,455人、28年度 1,526人 ・乳児家庭全戸訪問 訪問率 29年度 95.2%、28年度 95% 	出生連絡票の提出率は昨年より向上し、早期からの支援につながった。生後4か月までの乳児がいる95.2%の家庭に訪問を行い、個別のニーズにより様々な相談に対応しながら、安心して育児ができるように支援を継続することができており、母子保健の充実が図れた。	現状維持(具体的な取組を行った)
				86-5. 健康教育、健康診査、健康相談の実施(5)赤ちゃん広場(4か月、10か月児)	母子保健課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 発達節目である生後4か月と10か月に「赤ちゃん広場」を実施し、身体測定、発達確認を行うとともに、個別相談、母親同士の交流の場を提供した。(以下、4か月児赤ちゃん広場を「4赤」、10か月児赤ちゃん広場を「10赤」と表現する。) ・事業実施回数 29年度 4赤:133回 10赤:131回、28年度 4赤:125回 10赤:125回 ・事業参加人数 29年度 4赤:1,238人 10赤:1,217人、28年度 4赤:1,251人 10赤:1,256人 ・参加率 29年度 4赤:82% 10赤:76%、28年度 4赤:78% 10赤:76% ・個別相談人数 29年度 4赤:780人 10赤:781人、28年度 4赤:736人 10赤:769人 ・疑問に思っていたことが解決できた割合 29年度 4赤:73% 10赤:86%、28年度 4赤:63% 10赤:88% ・もともと疑問がなかった割合 29年度 4赤:24% 10赤:10%、28年度 4赤:30% 10赤:12% ・不安が和らいだ割合 29年度 4赤:76% 10赤:81%、28年度 4赤:69% 10赤:82% ・もともと不安がなかった割合 29年度 4赤:18% 10赤:16%、28年度 4赤:25% 10赤:16% 	一定の参加が得られている。利用者アンケートからも、赤ちゃん広場への参加や個別相談により疑問や不安が解消できているため、個別のニーズに配慮した支援により母子保健の充実が図れていると考える。引き続き子ども支援センターと密に情報共有し、継続支援の方法を工夫するほか、欠席者へは訪問や来所面接により状況確認や支援を行う。	現状維持(具体的な取組を行った)
				86-6. 健康教育、健康診査、健康相談の実施(6)相談事業(食生活、歯科、電話)	母子保健課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 食生活、歯科、その他育児などに関する相談を受け、子育てに関する不安や悩みに対応した。市民への電話相談の周知に関しては、各種事業で伝える、子育てハンドブック等の配布物への掲載、ホームページや広報への掲載、小中学生向けに配布する思春期の悩みに関するリーフレットへの掲載で周知を行った。 ・食生活相談(面接) 29年度 42件、28年度 85件 ・各事業での食生活相談(面接) 29年度 1,129件、28年度 1,143件 ・食生活電話相談 29年度 484件、28年度 486件 ・歯科家庭訪問 29年度 1件、28年度 5件 ・電話相談(育児相談等) 29年度 10,784件、28年度 9,141件 	個別のニーズに配慮した母子保健の充実が図れた。引き続き事業の周知をHPや広報等で行っていく。	現状維持(具体的な取組を行った)
				86-7. 健康教育、健康診査、健康相談の実施(7)ブックスタートの推進	生涯学習振興課(図書館)	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 絵本をきっかけとした親子の心ふれあうひとときを持つきっかけをつくるため、「4か月児赤ちゃん広場」等でブックスタートパックを配布した。 ・ブックスタートパックの配布数 29年度 1642件、28年度 1779件 	乳幼児期の子育て支援につながった。	現状維持(具体的な取組を行った)

【資料1】平成29年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H29年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価		
IV 健やかに暮らす											
1 生涯にわたる心と体の健康づくりの推進											
(2) 母子保健の充実	① 個別のニーズに配慮した母子保健の充実	87. 食育の取組	母子保健課	実施した	ア やちよ食育ネットワーク協議会 ・市内小学校で農業生産者と共に食育授業を行う「めざせ！食の達人 農業の先生とのふれあい授業」を実施。希望校11校にコーディネートを行い、学校独自で取り組んだ10校と合わせ、市内小学校22校中21校で農業生産者と関わりのある食育授業が実施された。企画・運営・評価を「やちよ食育ネットワーク協議会」で実施した。 ・会議開催 協議会1回、分科会1回、協議会・分科会合同会議1回 ・広報紙「やちよ食育マガジン」の発行 1回(第24報) ・「学校での食育を推進するための学習会」を実施した。 イ 母子保健・子育て支援事業等での食育 妊娠期から幼児期への継続した食育事業を子ども支援センター・地域子育て支援センター(子育て支援課)と連携して実施 ・妊娠 期 プレママ教室での食育(プレママ教室) ・乳 児 期 4か月児・10か月児赤ちゃん広場事業での食育 ・幼 児 期 子ども支援センター・地域子育て支援センター(もうすぐ1歳半おやこ広場)、みんなで食育事業、子育て応援ポケット事業での食育、公民館・サークルからの依頼食育講座 ・プレママ教室での食育 29年度 189人、28年度 152人 ・4か月児・10か月児あかちゃん広場での食育 29年度 2,455人、28年度 2,507人 ・もうすぐ1歳半おやこ広場での食育 29年度 726人、28年度 722人 ・みんなで食育事業 29年度 28回、329人、28年度 33回、436人 ・公民館・サークルからの依頼による食育講座 29年度 2回、14組、28年度 4回、46組	ア やちよ食育ネットワーク協議会 継続的な実施のために学校主体で取り組めるようサポートしていくことが課題である。 イ 母子保健・子育て支援事業等での食育 妊娠期からの食育の推進により、母子保健の充実が図れている。	現状維持(具体的な取組を行った)				
			農政課	実施した	母子保健課が事務局となっているやちよ食育ネットワーク協議会・分科会における会議に参加し、情報共有を行った。 ・やちよ食育ネットワーク協議会 29年度 3回、28年度 3回 ・やちよ食育ネットワーク分科会 29年度 2回、28年度 2回 ・授業視察 29年度 1回	目標の推進に向けて協力することができた。	現状維持(具体的な取組を行った)				
			保健体育課	実施した	・市内産の食材を年間を通じて学校給食に使用した。 ・市内産エコ人参を使用して「学校給食エコ人参ウィーク」等、特色のある取組を実施。 ・「めざせ食の達人 農業の先生とのふれあい授業」を2学期に小学校21校で実施。 ・児童生徒の野菜への関心を深めるために、「給食だより」に野菜のコーナーを設けて、「野菜パクパク 元気モリモリ」を掲載した。	・農業の先生とのふれあい授業を実施することで、農業への関心と食物への感謝の気持ちを高められた。 ・栄養教諭・学校栄養職員が授業を行うことにより、給食を生きた教材として活用し、食に関する知識を学習できた。	積極的な推進が見られた				
		② 性に関する心とからだの保健事業の推進	88. 思春期の生と性に関する取組	母子保健課	実施した	・八千代市思春期保健ネットワーク会議、作業部会を開催(委員数:会議9名、作業部会8名) ・リーフレットの配布 性に関する相談機関や正しい知識が得られるサイトを紹介するリーフレットを中学校1年生に配布。 ・大人に対する啓発事業 思春期保健シンポジウム「大切ないのち大切なからだ」を開催。参加者の増加を図るため、チラシとポスターの工夫や掲示場所を増やした。 ・アンケートの実施 「八千代オリジナル生と性の教育教材」の活用状況や授業の実際を把握するため、市内全中学校で実施。11校中7校で活用実績があった。また、内容について更新の検討を行った。 ・八千代市思春期保健ネットワーク会議・作業部会の開催回数 29年度 会議5回 作業部会2回、28年度 会議5回 作業部会2回 ・リーフレットの配布数 29年度 3,426枚、28年度 7,654枚 ・思春期保健シンポジウム参加者数 29年度 77人、28年度 70人	・目標に向けた取り組みは継続できている。 ・思春期保健シンポジウムの周知方法を検討したが参加者が少なかつたため、再度開催時期も併せて検討が必要である。	現状維持(具体的な取組を行った)			
			88. 思春期の生と性に関する取組	保健体育課	実施した	思春期保健ネットワーク会議に参加し、性に関する心とからだの保健事業の推進を図った。	目標の推進に向けて協力できた。	現状維持(具体的な取組を行った)			
			89-1. 性教育の推進 (1)小中学校における性教育の推進	保健体育課	実施した	No.88と同じ	No.88と同じ	現状維持(具体的な取組を行った)			
			89-2. 性教育の推進 (2)公民館における性教育の推進	生涯学習振興課(公民館)	実施した	思春期の子どもを持つ保護者を対象にした家庭教育講座の中で思春期の子どもとの関わり方の講演を行い、性の問題などについて学んだ。 ・講座受講者数 29年度 95人、28年度 148人	参加者数が少ないことが課題であり、周知の方法等の検討が必要である。	現状維持(具体的な取組を行った)			
		2 自立した生き方を支える福祉の充実									
		(1) 多様な子育て環境の整備	① 保育ニーズに合わせた保育事業の充実	90-1. 保育園事業の充実 (1)障害児保育の推進	子ども保育課	実施した	保育を必要とする障害児の受入れを行った。 ・29年度 障害児保育実績 44名(公立保育園 8園 24名、私立保育園 9園 20名) ・28年度 障害児保育実績 51名(公立保育園 7園 25名、私立保育園 12園 26名) また、児童発達支援センターと連携を図り障害児保育の実技指導研修会を実施し保育環境の向上を図った。	障害児の受入れは保育士の加配等を要することから保育体制の確立が厳しい状況にあると考える。	現状維持(具体的な取組を行った)		
				90-2. 保育園事業の充実 (2)保育園の地域開放の促進	子育て支援課(保育園)	実施した	保育園を月1~2回開放し、遊びの場の提供、育児相談、親子の触れ合い遊び等の行事を行った。	親同士の交流も図れ、地域に根付いた事業となっており、子育て支援の推進を図ることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)		
90-3. 保育園事業の充実 (3)延長保育の推進	子ども保育課			実施した	女性就労の増加や就労形態の変化等に対応するため、保育園において午後7時までの時間外保育を実施し、子育て支援の充実を図った。 ・時間外保育実施園数 29年度 公立保育園 7時まで:6園、8時まで:2園、私立保育園 26園 28年度 公立保育園 7時まで:6園、8時まで:2園、私立保育園 25園	拡充にあたっては保育士の確保等が課題であると考えられる。	現状維持(具体的な取組を行った)				

【資料1】平成29年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H29年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
IV 健やかに暮らす									
2 自立した生き方を支える福祉の充実									
(1) 多様な子育て環境の整備	① 保育ニーズに合わせた保育事業の充実		子ども保育課	90-4. 保育園事業の充実 (4) 産休明け保育の推進	実施した	女性が産後も就労を継続できるよう、産休明け保育を実施した。 ・産休明け保育実施園数 29年度 公立保育園 8園, 私立保育園 21園 28年度 公立保育園 8園, 私立保育園 21園	定員数があるため待機児童が発生してしまうことが課題であると考えられる。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
				90-5. 保育園事業の充実 (5) 乳児保育定員の拡充	実施した	保育園等において乳児保育定員数の拡充に努めた。 ・乳児保育実施園数 29年度 公立保育園 8園, 私立保育園 13園, 認定こども園 3園 28年度 公立保育園 8園, 私立保育園 13園, 認定こども園 3園 ・定員の拡充数 29年度 0歳児 4人, 1～2歳児 5人 28年度 0歳児 30人, 1～2歳児 13人	保育ニーズの大幅増加により待機児童解消には至っていない。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
				90-6. 保育園事業の充実 (6) 私立保育園等に対する助成	実施した	八千代市新保育ガイドラインに沿った保育内容の充実と施設運営の円滑を図るため私立保育園及び認定こども園に対し助成を行った。 ・助成実績 29年度 私立保育園 13園, 認定こども園 6園 28年度 私立保育園 13園, 認定こども園 5園	保育環境整備の充実等を行うことができた。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
				90-7. 保育園事業の充実 (7) 一時預かりの推進	実施した	保護者の就労・就学や冠婚葬祭、または育児に伴う軽減などを目的に一時預かりを行う民間保育園等に対し補助金を交付した。 ・助成実績 29年度 延べ4,631人の預かりに対して助成, 28年度 延べ5,003人の預かりに対して助成	個々の保育ニーズに合わせた保育事業の充実を図ることができた。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
				90-8. 保育園事業の充実 (8) 休日保育の実施	実施した	保護者の就労等により休日に保育を必要とする児童を対象に、ゆりのき台保育園で休日保育を実施した。 ・利用者数 29年度 延べ317人, 28年度 延べ355人	事業の維持・拡大については、職員の確保等が課題となっている。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
				91. 病児保育事業	実施した	市内一箇所(勝田台 あべクリニック)に委託し、病児または病気の回復期にある児童に対し、集団保育等が困難な時期における一時的な保育サービスを行った。 ・病児保育児童数(延べ数) 29年度 1,715人, 28年度 1,384人	実施場所が一箇所であることから施設の拡充等が課題であると考えられる。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
	② 学童保育の充実		子育て支援課(子ども支援センターすてっぷ21)	92. ファミリー・サポート・センター事業の充実	実施した	・育児支援及び産後支援として保育ニーズに対応した相互援助活動を実施。 29年度 会員数798人(依頼会員660人, 両方会員45人, 協力会員93人) 28年度 会員数801人(依頼会員643人, 両方会員52人, 協力会員106人) ・入会の手引きを各地域子育て支援センター等に配布。 ・ファミリー・サポート・センターを知ってもらうとともにPRも兼ね、各地域子育て支援センター及び 子ども支援センターにおいて、利用者向けに「おしえて！ふあみさぼ」を実施。 29年度 7回開催, 参加者67人, 28年度 8回開催, 参加者56人 ・基礎研修会(産後支援や育児支援を行う協力会員及び両方会員向け)や、救急救命講習会、交流会を実施。 29年度 14回開催, 参加者238人, 28年度 14回開催, 参加者284人	目的を達成できているが、依頼会員の数に比べ、協力会員・両方会員が不足していることが課題である。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
				93. 学童保育事業の充実	実施した	・放課後帰宅しても保護者の就労等の理由により適切な監護を受けられない小学校1年生から6年生までの児童に対し、学童保育所で保育を実施した。 ・学童保育所の整備に関する取り組みとして、八千代市学童保育対策検討会を設置し、八千代市学童保育所等整備方針を策定した。また、みどりが丘学童保育所の定員拡大について関係部局と協議を行った。 ・4月1日時点の学童保育所の合計在籍児童数 29年度 1,278人, 28年度 1,143人 ・学童保育所の合計定員数 29年度 1,325人, 28年度 1,180人 ・学童保育所数 29年度 24か所, 28年度 23か所	父母の就労支援や社会参加しやすい環境づくりを図ることができた。しかし、待機児童を解消するに至っていないため、今後も学童保育所の新設及び定員拡大について検討し、整備することが課題となっている。	積極的な推進が見られた	
				94. 安心して子育てができる地域づくり	実施した	母子保健課と子育て支援課が連携し、子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センターを拠点として、妊娠出産、乳幼児期までの切れ目のない支援を実施した。また日々の遊びと交流の広場の利用につなげることで、親子が安心して遊べ、親同士が交流する場や機会を提供し、併せて相談業務や情報提供を行った。子ども・子育て支援法に基づく利用者支援事業(母子保健課に置いて母子保健型、すてっぷ21大和田において基本型)として、様々な相談やニーズに応じた支援や情報提供を行った。 ・妊娠届出書数 (母子保健課) 29年度 844人 28年度 799人 (子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センター・ゆりのき台保育園) 29年度 613人 28年度 666人 ・4か月児赤ちゃん広場 29年度 1,238人, 82% 28年度 1,251人, 78% ・10か月児赤ちゃん広場 29年度 1,217人, 76% 28年度 1,256人, 76% ・子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センター開放日数 29年度 1,388日 28年度 1,506日 ・子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センター全利用者数 29年度 54,087人 28年度 60,948人 ・出前「遊びと交流の広場」開催場所 29年度 13箇所 28年度 11箇所 ・出前「遊びと交流の広場」利用者数 29年度 7,543人 28年度 7,574人 ※八千代台保育園建て替えに伴い、地域子育て支援センターあいの遊びと交流の広場が8月から休止。出前「遊びと交流の広場」の回数を増やし対応した。	母子保健課と子育て支援課が連携することで切れ目のない支援につなげ、子育て支援の充実が図れた。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
	③ 子育て支援の充実		母子保健課	94. 安心して子育てができる地域づくり	実施した	母子保健課と子育て支援課が連携し、子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センターを拠点として、妊娠出産、乳幼児期までの切れ目のない支援を実施した。また日々の遊びと交流の広場の利用につなげることで、親子が安心して遊べ、親同士が交流する場や機会を提供し、併せて相談業務や情報提供を行った。子ども・子育て支援法に基づく利用者支援事業(母子保健課に置いて母子保健型、すてっぷ21大和田において基本型)として、様々な相談やニーズに応じた支援や情報提供を行った。 ・妊娠届出書数 (母子保健課) 29年度 844人 28年度 799人 (子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センター・ゆりのき台保育園) 29年度 613人 28年度 666人 ・4か月児赤ちゃん広場 29年度 1,238人, 82% 28年度 1,251人, 78% ・10か月児赤ちゃん広場 29年度 1,217人, 76% 28年度 1,256人, 76% ・子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センター開放日数 29年度 1,388日 28年度 1,506日 ・子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センター全利用者数 29年度 54,087人 28年度 60,948人 ・出前「遊びと交流の広場」開催場所 29年度 13箇所 28年度 11箇所 ・出前「遊びと交流の広場」利用者数 29年度 7,543人 28年度 7,574人 ※八千代台保育園建て替えに伴い、地域子育て支援センターあいの遊びと交流の広場が8月から休止。出前「遊びと交流の広場」の回数を増やし対応した。	母子保健課と子育て支援課が連携することで切れ目のない支援につなげ、子育て支援の充実が図れた。	現状維持 (具体的な取組を行った)	

【資料1】平成29年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H29年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
IV 健やかに暮らす									
2 自立した生き方を支える福祉の充実									
(1) 多様な子育て環境の整備	③ 子育て支援の充実			95. 子ども相談センターの充実	子ども福祉課(子ども相談センター)	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・18歳未満の子どもと家庭(妊産婦を含む)の総合相談窓口として、福祉、保健、教育等の専門職と家庭相談員が、電話・面接・家庭訪問の個別支援と保護者向けのグループ支援を行った。また、児童虐待の未然防止・対応に取り組み、子どもの健全育成を支援した。また、職員を2名増員した。 ・要保護児童対策地域協議会の運営と関係機関向け虐待防止研修の開催等により、関係機関の連携強化と専門性の向上に努めた。 ・保護者向けに前年度に実施した「叩かない・怒鳴らない子育て講座」とに加え、新たなテーマでのグループ支援として「親と子の関係を考える会」を開催し、保護者のメンタルヘルスの向上と虐待防止を図った。 ・子ども相談センターへの相談件数(新規+継続)・延べ対応件数 29年度 1,122件・30,070件、28年度 1,092件・26,307件 ・子ども相談センターの相談員数 29年度 10人、28年度 8人 ・要保護児童対策地域協議会の委員数 29年度 59人、28年度 60人 ・関係機関向け研修及び啓発の実施回数と参加人数 29年度 17回 529人、28年度 21回 595人 ・子育て講座の開催日数 29年度 8日、28年度 3日 	関係機関と連携しながら、子育て支援の充実が図れた。また、職員2名の増員で、相談体制を強化できた。	積極的な推進が見られた
				96. 地域子育て支援センター機能の充実	子育て支援課(子ども支援センターすてっぷ21)	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・マタニティ広場や子育てワークショップ「おしゃべり広場」、「遊びと交流の広場」等の交流の場を提供し、妊娠期の早い時期から地域子育て支援センター等の利用を促した。 ・相談や情報提供、親の学習支援など、保育士、栄養士、看護師など専門職の特性を活かした支援を各種事業、遊びと交流の広場で実施した。 ・遊びと交流の広場 利用者数・相談件数 29年度 54,087人 1,619件、28年度 60,948人 1,947件 ・すてっぷ21大和田にて、利用者支援事業(基本型)を実施した。 29年度 103件、28年度 23件 	遊びと交流の広場の利用につながっていない親子への支援、事業の周知が課題。	現状維持(具体的な取組を行った)
				97-1. 講座等の開催 (1)子ども教室、家庭教育講座等	生涯学習振興課(公民館)	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 児童の健全育成を目指し、子どもの発達段階に合わせた親の関わり方を学ぶ機会や、子育てに関する情報提供及び親同士の交流の機会として講座を開催した。 ・保護者対象講座(家庭教育学級等)9講座 参加延べ人数 362人(前年度:8講座 参加延べ人数 572人) ・1歳児親子学級(市内8公民館10学級 各全6回) 参加延べ人数 1,833人(前年度:市内7公民館8学級 各全6回 参加延べ人数 1,650人) ・親子対象講座(料理・陶芸・木工等)31講座 参加延べ人数 941人(前年度:21講座 参加延べ人数 729人) ・青少年対象講座(茶道・工作・将棋等)49講座 参加延べ人数 1,524人(前年度:16講座 参加延べ人数 551人) 	主催講座の実施により、児童の健全育成及び親の交流機会の充実を図ることができた。家庭教育学級の参加者数の減少が課題である。	積極的な推進が見られた
				97-2. 講座等の開催 (2)子どもと本の講座、おはなし会	生涯学習振興課(図書館)	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 下記の事業を開催した。 ・0～1歳向け、2～3歳向け、4歳以上向け等年齢に応じたおはなし会の定期開催 ・保育園対象のおはなし会 ・季節に合わせた特別おはなし会(こわいおはなし会等) ・ボランティアや保育士向けの読み聞かせ講座 ・本を使った調べ学習等の各種講座 	様々なおはなし会やイベントを開催し、図書館での交流の機会を設けることができた。より多くの人に参加してもらえるように、広報活動を活発に行っていきたい。	現状維持(具体的な取組を行った)
				98. 親学習支援事業の実施	子育て支援課(子ども支援センターすてっぷ21)	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 子育て中の親を対象に、食を通じて育児力・生活力をつけるための「みんなで食育」、子育てのワンポイントを紹介する「子育て応援ポケット」、育児力を向上させる子育てワークショップ「おしゃべり広場」を実施し、参加型・体験型の学習機会を提供した。 ・みんなで食育の開催 29年度 28回、28年度 33回 ・子育て応援ポケットの開催 29年度 65回、28年度 92回 ・おしゃべり広場の開催 29年度 18回、28年度 25回 	子育てをする親に対し、参加・体験型の学習機会を提供することにより子育て支援の充実を図ることができた。親の交流機会の充実と学習支援が図れた。	現状維持(具体的な取組を行った)
	99. 母子、父子、寡婦福祉資金の貸付	子ども福祉課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 母子家庭・父子家庭又は寡婦の経済的自立と生活意欲の助長及びその児童の福祉の向上を図るため、各種資金を無利子又は低利子で貸し付けた。(県の事業であり、市は受付窓口) ・貸付件数 29年度 15件、28年度 20件 	ひとり親家庭の経済的な援助につながった。	現状維持(具体的な取組を行った)			
	100. ひとり親家庭等の医療費助成	子ども福祉課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭等の母・父及び児童に対し、児童が満18歳に達する年度(一定の障害を有する場合は20歳に達した月末)まで、医療費の一部を助成した。 ・医療費の助成を受けた人の数 29年度 1,520人、28年度 1,515人 	ひとり親家庭の経済的負担の軽減を図ることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)			
	101. ひとり親家庭の児童育成のための経済的支援の充実	子ども福祉課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 低所得のひとり親家庭に対して、児童扶養手当の支給を行った。 ・支給者数 29年度 1,031人、28年度 1,130人 	低所得のひとり親家庭に対して、経済的な支援をすることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)			
	102. 母子生活支援施設への入所	子ども福祉課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 生活上の問題のため、児童の養育が十分にできない場合、母子で施設に入所させ、生活指導、就労支援、保育の援助を行った。 ・入所世帯数 29年度 1世帯、28年度 2世帯 	母子が安心して生活できる場を提供することができた。	現状維持(具体的な取組を行った)			
	103. 高等職業訓練促進支援事業及び自立支援教育訓練助成事業	子ども福祉課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・高等職業訓練促進給付金を、看護師・准看護師・介護福祉士・保育士・理学療法士・作業療法士の資格取得のために、養成機関で修業しているひとり親家庭の母親へ支給した。 ・自立支援教育訓練給付金を、雇用保険の教育訓練指定講座を受講したひとり親家庭の母親へ支給した。 ・高等職業訓練促進給付金支給者数 29年度 2人、28年度 1人 ・自立支援教育訓練給付金支給者数 29年度 2人、28年度 2人 	・高等職業訓練促進給付金の支給により、資格取得のための生活費の負担を軽減することができた。また、対象者の資格取得により増収が見込まれる状況となった。	現状維持(具体的な取組を行った)			
(2) ひとり親家庭の自立の推進	① 経済の安定と住環境の整備			99. 母子、父子、寡婦福祉資金の貸付	子ども福祉課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 母子家庭・父子家庭又は寡婦の経済的自立と生活意欲の助長及びその児童の福祉の向上を図るため、各種資金を無利子又は低利子で貸し付けた。(県の事業であり、市は受付窓口) ・貸付件数 29年度 15件、28年度 20件 	ひとり親家庭の経済的な援助につながった。	現状維持(具体的な取組を行った)
				100. ひとり親家庭等の医療費助成	子ども福祉課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭等の母・父及び児童に対し、児童が満18歳に達する年度(一定の障害を有する場合は20歳に達した月末)まで、医療費の一部を助成した。 ・医療費の助成を受けた人の数 29年度 1,520人、28年度 1,515人 	ひとり親家庭の経済的負担の軽減を図ることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)
				101. ひとり親家庭の児童育成のための経済的支援の充実	子ども福祉課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 低所得のひとり親家庭に対して、児童扶養手当の支給を行った。 ・支給者数 29年度 1,031人、28年度 1,130人 	低所得のひとり親家庭に対して、経済的な支援をすることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)
				102. 母子生活支援施設への入所	子ども福祉課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 生活上の問題のため、児童の養育が十分にできない場合、母子で施設に入所させ、生活指導、就労支援、保育の援助を行った。 ・入所世帯数 29年度 1世帯、28年度 2世帯 	母子が安心して生活できる場を提供することができた。	現状維持(具体的な取組を行った)
				103. 高等職業訓練促進支援事業及び自立支援教育訓練助成事業	子ども福祉課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・高等職業訓練促進給付金を、看護師・准看護師・介護福祉士・保育士・理学療法士・作業療法士の資格取得のために、養成機関で修業しているひとり親家庭の母親へ支給した。 ・自立支援教育訓練給付金を、雇用保険の教育訓練指定講座を受講したひとり親家庭の母親へ支給した。 ・高等職業訓練促進給付金支給者数 29年度 2人、28年度 1人 ・自立支援教育訓練給付金支給者数 29年度 2人、28年度 2人 	・高等職業訓練促進給付金の支給により、資格取得のための生活費の負担を軽減することができた。また、対象者の資格取得により増収が見込まれる状況となった。	現状維持(具体的な取組を行った)

【資料1】平成29年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H29年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価						
IV 健やかに暮らす															
2 自立した生き方を支える福祉の充実															
(2) ひとり親家庭の自立の推進	① 経済の安定と住環境の整備	104. 母子世帯向け市営住宅	健康福祉課	実施した	実施した	・年に3回、広報やちよ及び市ホームページで入居者を募集した。 ・総入居件数 29年度 21戸、28年度 23戸 ・新規入居件数 29年度 1戸、28年度 2戸	母子家庭の生活の安定のため住居を供給できた。引き続き母子家庭の居住の安定を図るため、母子世帯向け市営住宅を供給していく。	現状維持(具体的な取組を行った)							
									② 生活支援の充実	105. ひとり親家庭等日常生活支援事業	子ども福祉課	実施した	義務教育終了前の児童がいるひとり親家庭で、親が急に病気になった時や、仕事が入った時などに家庭生活支援員が児童の保育などの支援を行った。 ・利用者数 29年度 9人、28年度 8人 ・延べ利用回数 29年度 339回、28年度 287回	ひとり親家庭の生活支援となっている。	現状維持(具体的な取組を行った)
③ 緊急時対応の充実	107. 緊急時の児童相談所との連携	子ども福祉課(子ども相談センター)	実施した	実施した	保護者の疾病や出産等により子どもの養育が困難な場合に、子どもショートステイ事業を実施し、子どもショートステイ事業が利用できない場合は、当該児童の情報を児童相談所に提供し、児童相談所が必要に応じて一時保護又は児童福祉施設入所・里親委託等の措置を講じた。 子どもショートステイ事業は、3歳未満児を対象とし、事業の利用が必要な家庭へ周知がされるよう、広報のほか、母子保健推進員の訪問時や、1歳6か月児健診の際にちらしを配布した。また、本事業の利便性向上の一環として、平成30年1～2月、全地区の10ヶ月児赤ちゃん広場参加者を対象に、本事業の認知度と要望等を調査するアンケートを実施した。 ・子どもショートステイ事業利用件数 29年度 10件、28年度 10件 ・子どもショートステイ事業利用延べ日数 29年度 23日、28年度 30日 ・子どもショートステイ事業問合せ件数 29年度 45件、28年度 35件	子どもショートステイ事業に関する問い合わせ件数が増加した。事業対象者へのアンケート結果から、回答者の半数以上は本事業を認知していないことが判明したため、周知方法を見直していく。	積極的な推進が見られた								
								① 自立援助の推進	108. 地域包括支援センターにおける相談事業	長寿支援課(地域包括支援センター)	実施した	高齢者の介護や老後の心配、健康や医療、福祉に関すること、その他生活全般の悩みについて、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員が相談を受け、適切な相談機関や福祉・介護サービスなどの情報提供、助言を行った。 ・市内6箇所の地域包括支援センター延べ対応件数(訪問・電話・来所等) 29年度 61,960件、28年度 56,659件	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、高齢者の困りごとの相談、支援が行えた。	現状維持(具体的な取組を行った)	
															109-1. 日常生活用具、補装具の給付と貸与(1)高齢者日常生活用具給付等事業
109-2. 日常生活用具、補装具の給付と貸与(2)日常生活用具費及び補装具費の支給	障害者支援課	実施した	・身体障害者等の日常生活の向上を図るために、義肢、装具、車椅子、補聴器等の購入・修理する費用を支給した。 ・障害児・者、難病患者等の日常生活の便宜を図るために、盲人用時計、特殊寝台、電動式たん吸引器、ストーマ装具等を購入する費用を支給した。 ・補装具購入件数 29年度 188件、28年度 186件 ・補装具修理件数 29年度 109件、28年度 95件 ・日常生活用具支給件数 29年度 1,168件、28年度 1,439件	障害児・者、難病患者等の自立した生活を支援できた。	現状維持(具体的な取組を行った)										
110. 入浴サービス事業	障害者支援課	実施した	入浴が困難な重度の障害児・者、難病患者の健康増進と介護者の負担を軽減するために、自宅で入浴サービスを行なった。 ・入浴実人数 29年度 7人、28年度 10人 ・利用延件数 29年度 68件、28年度 86件	体を清潔に保つことができ、家族の介護負担を軽減することができた。利用者の生活の質の向上を図る上では入浴回数が検討課題である。	現状維持(具体的な取組を行った)										
111. 介護用品購入費助成事業の実施	長寿支援課	実施した	自宅において寝たきり及び重度の認知症である高齢者を介護している家族に対して、紙おむつなどの介護用品購入費の一部を助成した。 ・利用件数 29年度 1,639件、28年度 1,873件	介護者及び家族の経済的・精神的負担が軽減された。	現状維持(具体的な取組を行った)										
112. 訪問指導の実施	健康づくり課	実施した	保健師、理学療法士・歯科衛生士・栄養士が高齢者や障害者、生活習慣病リスクの高い住民を訪問し、住環境や生活状況等の評価に基づき、これらの改善を目的とした提案または助言を行う。 ・被訪問実人員 29年度 27人(延べ32人)、28年度 43人	訪問に関する依頼数の減少に伴い、平成28年度に比べて平成29年度は訪問数が減少した。今後も、誰もが住み慣れた地域で明るく生きがいのある生活を送れるよう、健康リスクの高い住民の状態の改善に取り組む。	現状維持(具体的な取組を行った)										
② 緊急時対応の充実	113-1. 短期入所、緊急一時保護(1)高齢者緊急一時保護事業	長寿支援課	実施した	災害時・事故等緊急時に際し、保護者が不在のため、在宅生活が困難な要保護高齢者を一時的に指定した施設への保護を行う。 ・利用件数 29年度 0件、28年度 0件	引き続き緊急時に備え、体制を整えていく。	現状維持(具体的な取組を行った)									
	113-2. 短期入所、緊急一時保護(2)障害児、者の短期入所事業	障害者支援課	実施した	障害児・者を在宅で介護している家族が、疾病等により介護が困難となった時に、短期間施設に入所させ、入浴、排泄及び食事の介護その他必要な支援を行う。 ・実人数 29年度 96人、28年度 93人 ・延件数 29年度 377件、28年度 359件	緊急時の対応ができた。今後も実施していく。	現状維持(具体的な取組を行った)									
	114. 緊急通報システム設置	長寿支援課	実施した	ひとり暮らしの高齢者が急病など緊急時に即時に連絡がとれるよう、緊急通報装置を設置した。また、付属機器として孤独死防止の見守り機器を設置した。 ・新規設置数 29年度 151件、28年度 123件	ひとり暮らし高齢者の安心・安全が図られた。	現状維持(具体的な取組を行った)									
	114. 緊急通報システム設置	障害者支援課	実施した	ひとり暮らしの身体障害者手帳1級・2級所持者が、急病などの緊急事態のときに即時連絡が取れるよう、緊急通報装置を設置した。通報があった場合に、委託された業者が即時に必要な対応を行った。 ・実人数 29年度 8人、28年度 7人 ・利用延件数 29年度 83件、28年度 78件	障害者の緊急事態への不安を軽減し、ひとり暮らしの身体障害者の安心・安全が図られた。	現状維持(具体的な取組を行った)									

【資料1】平成29年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H29年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
IV 健やかに暮らす									
2 自立した生き方を支える福祉の充実									
	(3) 高齢者・障害者福祉の充実	② 緊急時対応の充実	115. 徘徊高齢者家族支援サービス事業の推進	長寿支援課	実施した		徘徊する心配のある高齢者を介護している家族が、行方不明になった高齢者を探索し、早期発見できるよう専用端末を貸し出した。 ・専用端末の貸出延件数 29年度 101件, 28年度 131件	緊急時の対応の充実が図れた。	現状維持(具体的な取組を行った)
		③ 地域のサポート・ネットワークへの支援	116. SOSネットワーク事業の推進	健康福祉課(福祉総合相談室)	実施した		行政防災用無線を利用することにより、徘徊により行方不明になった高齢者等を早期に発見・保護し安全の確保を図った。また徘徊高齢者等情報メール(やちよ情報メール)も配信することにより市民からの情報収集を図った。 ・利用件数 29年度 8件, 28年度 5件	緊急時の対応、行方不明者の早期発見につながることで対象者の安全確保が図れた。	現状維持(具体的な取組を行った)
V みんなで推進する									
1 連携・協働体制の構築									
	(1) 市民参加の推進	① 男女共同参画事業への市民参加の推進	117. 市民参加の推進	男女共同参画課	実施した		やちよ男女共同参画プラン懇話会 2月6日(火)実施 委員10人(市民委員5人, 学識経験者5人)	意見を今後の事業に取り入れ、市民参加の推進を図りたい。	現状維持(具体的な取組を行った)
		② 男女共同参画施策への市民意見導入の推進	118. 市民意見導入の推進	男女共同参画課					
	(2) 国・県・近隣自治体との連携・協力	① 国・県・近隣自治体と連携した取組の推進	119. 国、県、近隣自治体との連携	男女共同参画課	実施した		・下記の会議に出席し、国・県・近隣自治体との情報交換を行った。 ちば男女共同参画行政担当者連絡会議 男女共同参画センター等連絡会議 男女共同参画づくりに向けての全国会議 ・千葉県男女共同参画地域推進員会議(千葉・葛南地域)に出席し、県や近隣自治体と協力して事業を実施した。月1回, 第4水曜開催。 ・千葉県男女共同参画課より講師を招いて、女性こころの悩み電話相談員研修を実施した。	県・近隣自治体との連携・協力を図ることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)
			119. 国、県、近隣自治体との連携	男女共同参画センター					
2 推進体制の強化									
	(1) 男女共同参画センターの充実	① 男女共同参画センターの周知と機能の充実	120. 男女共同参画センターの周知と効果的な情報発信の実施	男女共同参画センター	実施した		・広報やちよで特集を組み、センターの事業紹介を行った。 ・男女共同参画週間事業「女性起業家の見本市～やちよの素敵なお店コレクション～」の会場でセンターの事業を紹介するブースを設けた。 ・講座実施状況をホームページに掲載、センター内に掲示した。 ・ふくろうFMでセンターの紹介を行った。	広く男女共同参画に関する情報提供を行い、男女共同参画センターの周知ができた。	積極的な推進が見られた
		(2) 庁内推進体制の整備・拡充	① 庁内推進組織の活用	121. 庁内推進組織の活用	男女共同参画課	実施した		男女共同参画施策を推進するための庁内の組織として設置した「やちよ男女共同参画プラン推進会議及び幹事会」の委員及び幹事に、やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画の進捗状況の概要を報告した。	本市の男女共同参画施策の進捗状況について、庁内推進組織を活用し周知することができた。
	② 市職員への研修機会の提供		122-1. 市職員への研修機会の提供 (1)国、県等の講座、研修等の情報提供	男女共同参画課	実施した		新規採用職員研修において、やちよ男女共同参画プランに基づき、男女共同参画に関する取組を理解するため研修を実施した。	新規採用職員の意識啓発ができた。	現状維持(具体的な取組を行った)
			122-2. 市職員への研修機会の提供 (2)男女共同参画に関する研修の実施	職員課	実施した				
	(3) 計画の進行管理の充実	① 計画の進行管理・評価・周知	123. 計画の進行管理、評価、周知	男女共同参画課	実施した	No.121と同じ		No.121と同じ	現状維持(具体的な取組を行った)